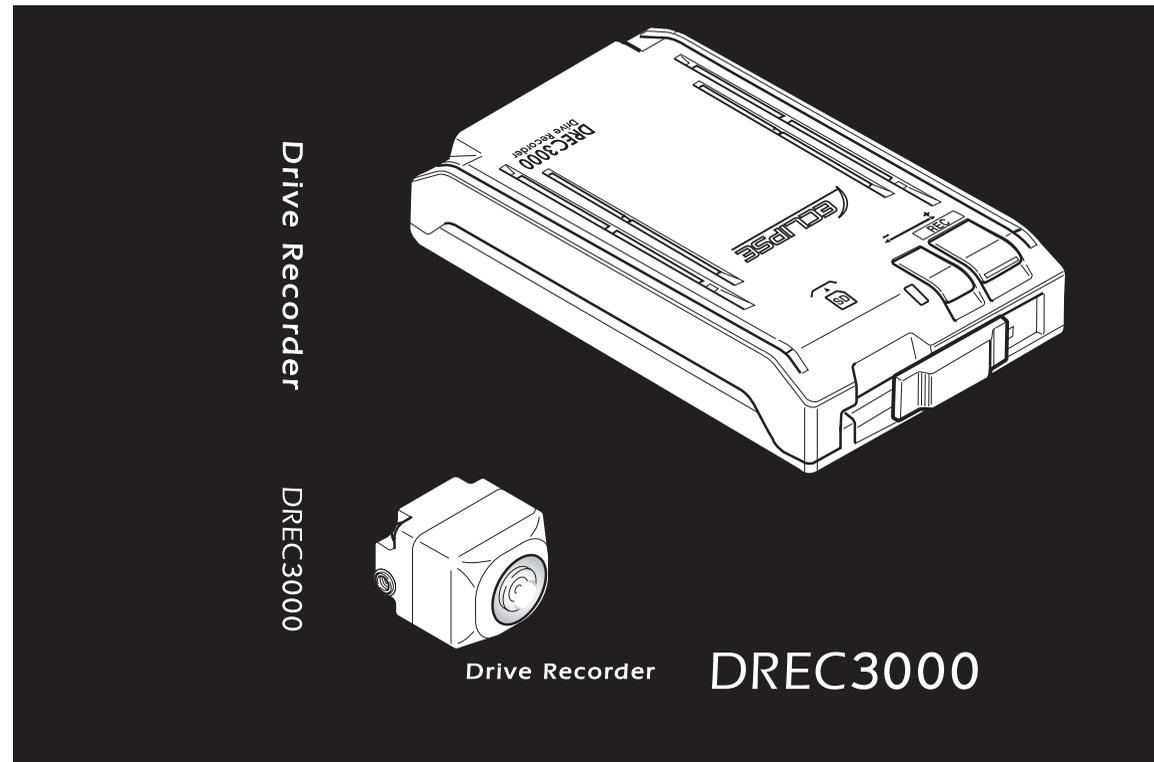




取扱説明書



富士通テン株式会社

〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
電話 神戸 (078) 671-5081

www.fujitsu-ten.co.jp

090001-14930700 0904MT(D)

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。
本機を正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、お読みになった後も、必要なときにすぐご覧になれるよう大切に保管してください。

FUJITSU TEN

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- Windows 2000、Windows XP、Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、本文中に掲載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。



警告

- 本機は DC12V/24V ⊖ アース車専用です。12V/24V 車以外では使用しないでください。
- 本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしないでください。
交通事故や怪我の原因となります。
- 車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。
火災の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。
これらを使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。
- 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をはずしてください。
プラス⊕とマイナス⊖経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめてください。
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
事故・火災・感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。



警告

- **エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしないでください。**
エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、怪我の原因となります。
- **視界や運転の妨げになる場所へは取り付けしないでください。**
交通事故の原因となります。
- **ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください。**
破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。
- **接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。**
ショートにより火災、感電の原因となります。
- **カメラは、運転者の視界の妨げにならないよう、フロントガラス上部ルームミラーの裏側のガラスの範囲に設置してください。**
自動車検査法人審査事務規定 第5章 5-47により設置場所が限定されています。
- **スピーカーは指定の場所に取り付けてください。**
フロントガラス上に取り付けた場合、車検に適合しません。
- **運転者は走行中にSDメモリーカードの抜き差しやスイッチ操作をしないでください。**
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **本機が衝撃を検知するかを確かめるため故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。**
- **付属のシガーライタープラグがシガーライターソケットの形状に合わない場合は、使用しないでください。**
火災、感電の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れないでください。**
発煙、発火、感電の原因となります。
- **雷が鳴り出したら、本機、カメラ、スピーカー、シガーライタープラグに触れないでください。**
落雷により、感電の危険性があります。
- **本機を使用するために、禁止された場所に駐停車しないでください。**
- **カード挿入口に異物を入れないでください。**
火災や感電の原因となります。



- 本機の取付・配線では、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。
- 本説明書で指定された通りに接続してください。
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- コードが金属部に触れないように配線してください。
金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。
コード類が車体の高温部に接触すると被膜が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。
感電や怪我の原因となることがあります。
- 本機は、危険運転の際の状況を記録することが目的です。イタズラその他の目的では、使用しないでください。
- 本機を取り付ける際に外した、車両のボルト、ナット、ネジ等は、紛失しないように注意し、戻し忘れ、締め忘れがないようにしてください。
- しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。
衝撃を正しく検知できず、誤って作動したり、衝撃があっても作動しないことがあります。
- 本機に、強い力やショックを与える、落とす、上に重いものをのせることはしないでください。
火災、故障の恐れがあります。
- 取付後に、オフセット設定 (P.30) を必ず実施してください。
衝撃を正しく検知できず、誤って作動したり、衝撃があっても作動しないことがあります。(詳細は P.30 の動作確認手順を参照してください)



- シガーライタープラグを抜くときは、プラグ部を持って抜いてください。
コードが破損し、火災、感電の原因となることがあります。
- 濡れた手でシガーライタープラグの抜き差しをしないでください。
感電の原因となることがあります。
- 雨が吹きこむところなど水のかかるところや、湿気、埃、油煙の多いところへ取り付けしないでください。
本機に水や結露（エアコンホース周囲など）、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- ダッシュボード上など直射日光が当たり続けるところへ取り付けしないでください。
本機が高温となり、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- 両面テープで取り付ける場合は、取り付け場所の汚れやワックスをきれいに拭き取ってください。
きれいに拭き取らないと、走行時の振動で機器が外れて運転の妨げとなり交通事故やけがの原因となることがあります。
- 車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- カード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- 直射日光が当たった場合などは、金属部分が高温になり、火傷をする可能性があります。
- カメラやブラケットなどは、定期的に点検してください。取り付けネジの緩みや貼り付けした部分がはがれていないことを確認してください。取り付けネジの緩みがある場合は、増し締めをしてください。
本機やカメラが外れて視界や運転の妨げとなり、事故の原因となることがあります。
- フロントガラスのお手入れの際は、カメラの固定具およびカメラのコード、スピーカーのコードを強く引っ張らないでください。
カメラの固定具がはずれる恐れがあります。
(はずれた場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。)

本機について〔必ずお読みください〕

- 本機は衝撃を検知して映像を記録する装置ですが、すべての状況において映像を記録することを保証したものではありません。以下の場合などは、衝撃が検知できず映像が記録できないことがあります。
 - ① 低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
 - ② 自車両、相手車両の衝撃緩和箇所に衝突した場合
 - ※①②バンパー、ドア、タイヤボックス等で衝撃が緩和されるので、見た目より衝撃が発生しないことがあります。
エアバッグが開かないような低衝撃の事故は検知できない場合があります。
 - ③ 自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車等の場合
 - ④ 相手車両の側面をこするように衝突した場合
 - ※③④相手車両が軽かったり（自動車対人、自動車対自転車等）、相手車両が回転すると、衝突時の衝撃が受け流され、自車両への反発の衝撃が小さくなります。
 - ⑤ 雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合
 - ※雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく、小さい衝撃でもスリップしますので、G センサでの検知が困難になります。また、ABS が作動していても、タイヤがロックしないように制御するだけなので、発生する衝撃は小さいままです。
 - ⑥ 衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサ感度に満たない場合
 - ⑦ 本機の本体が固定されていなかったり、取付後のオフセット設定が行われていないなど、本機の実装状態に問題がある場合
 - ⑧ 大きな事故や水没などで本機が損傷を受けた場合
 - ⑨ 大きな事故の場合などでバッテリーと本機間の電源コードが断線した場合、または、バッテリーが損傷を受けた場合
- 衝撃を感じても映像が記録されなかった場合や記録された映像データが破損していた場合による損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については弊社は一切責任を負いません。
- 本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的では使用しないでください。これらの場合については弊社は一切責任を負いません。

- LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。
- 長期間にわたり電源が供給されない状態が続くと、日時がずれる場合があります。日時が大幅にずれている場合や日時異常になった場合は、P.45 または P.66 の手順に従い日時を修正してください。
- 本機で記録した映像を見るために、下記のスペックを満足するパソコンが必要です。また、カードリーダーは含まれていませんので、ご使用のパソコンに接続可能なカードリーダーを別途ご購入願います。

パソコンの必要条件	
OS	Windows 2000(SP4 以降) Windows XP(SP3 以降) Windows Vista(SP1 以降) いずれも 32bit 版
CPU	Pentium III 800MHz 以上
メモリ	128MB 以上
ディスプレイ	800 × 640 ピクセル以上、High Color(16 ビット) 以上
サウンド	Windows で使用可能な PCM サウンド再生機能
その他	Internet Explorer 4.0 以降 USB 2.0 または PCMCIA スロット経由で SD メモリーカードにアクセスできること

※ 1 上記の OS より古いバージョンの OS 上で、起動させた場合のアプリの動作は保障されません。

目次

使用上のご注意	10
構成品と各部の名称	12
構成部品.....	12
各部の名称.....	14
LED表示と案内音 / ガイダンス音声の内容.....	15
LED表示.....	15
案内音 / ガイダンス音声.....	16
取り付け	18
接続方法.....	18
取付概要図.....	19
カメラの取り付け.....	20
カメラ、スピーカー取付概要図.....	21
本体の取付概要図.....	26
本体の取り付け.....	27
外付け記録スイッチの取り付け (別売 DRSW10).....	29
動作確認手順.....	30
本体の操作方法	33
起動する.....	33
終了する.....	34
映像を記録する (記録モード).....	35
エコガイドスを行う.....	39
記録した映像を見る (ビューアーモード).....	40
本体の設定を変更する (設定モード).....	44
ドライブレコーダー本体のアプリケーションソフトをバージョンUPする.....	47
ビューアーソフトの操作方法	48
ビューアーソフトをコピーする.....	48
記録した映像を見る.....	51
記録した映像をパソコンに保存する.....	58
記録した映像をSDメモリーカードから消去する.....	60
センサの感度を変更する.....	62
本体の日時を修正する.....	66
SDメモリーカードを再セットアップする.....	68
ヘルプを表示する.....	71
バージョン情報を表示する.....	72
ビューアーソフトを消してしまった場合.....	73
ご参考に	74
よくある質問.....	74
本体.....	74
ビューアー.....	77
仕様.....	79
本体.....	79
カメラ.....	79
アフターサービスについて	80

使用上のご注意

- 取り付け後、取扱説明書の動作確認手順に従い、正しく動作していることを確認してください。
- 極端な高温や低温でのご使用は、誤作動や故障の原因となります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてください。
- 本機には、必ず添付の SD メモリーカードを使用してください。
SD メモリーカードを挿入口から挿入してお使いください。
SD メモリーカードを挿入しない場合、本機は動作しません。
- SD メモリーカードを本機に挿入する場合、向きに注意して挿入してください。SD メモリーカードを挿入したあとは、カード扉をカチッと音がするまで左にスライドさせてください。
- SD メモリーカードの抜き挿しは、本機の電源が切れていること（全ての LED が消灯）を確認して行ってください。本機が動作中に SD メモリーカードの抜き挿しを行うと、SD メモリーカードが破損する恐れがあります。
- SD メモリーカードへのデータ書き込み中（赤 LED が点灯中）は、絶対に SD メモリーカードを抜かないでください。SD メモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障する恐れがあります。
- SD メモリーカードを抜く場合、本機の電源が切れていること（全ての LED が消灯）を確認し、カード扉を右にスライドし、SD メモリーカードの中央付近を軽く押し込み手を離してください。SD メモリーカードが少し飛び出しますので SD メモリーカードを取り出してください。
- SD メモリーカードには、ドライブレコーダーで記録されるデータ以外を保存しないでください。正しく画像が記録されないことがあります。
- LED 式信号機は、目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して記録される場合があります。LED 式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。カメラやスピーカーの故障や破損の原因になります。
- カメラ部への直火やドライヤー、熱湯での急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因になります。

- カメラ本体及びレンズ部分、ブラケット、カメラコードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因になります。
- 磨き砂等が配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因になります。
- カメラレンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。乾いた布で強くこするとキズの原因になります。
- カメラコードにキズをつけないでください。キズ部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ故障や火災、感電の原因になります。
- フロントガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見つらなくなる場合があります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象^(※)が発生することがありますが、カメラの異常ではありません。



高輝度の被写体

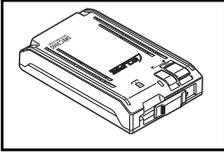
(※)ブルーミング現象:高輝度の被写体(太陽やヘッドライトなど)がカメラに映ると、光周辺に白飽和が発生する

- 本機の日時を定期的を確認してください。日時がずれている場合は、P.45 または P.66 の手順で日時を修正してください。
- 本機は、別売のシガーライターソケットを使用することで簡易に電源を取れるようになっておりますが、車両によってはバッテリーから電源供給されており、バッテリーあがりになる場合がありますのでギボシ端子を使用し車両のアクセサリ電源線から電源を取得することをお勧めいたします。
- シガーライターソケットから電源をとる場合、エンジンキーオフでシガーライター電源がオフになることを確認してください。エンジンキーオフでシガーライター電源がオフにならない車両は、シガーライタープラグの抜き忘れで、バッテリー上がりの恐れがあるため、シガーライター電源は使用しないでください。
- シガーライタープラグは、奥までしっかりと差し込んでください。シガーライターソケットの口径に合わせて、シガープラグのスライドスイッチを、N側またはW側に切替えて使用してください。
差し込んだ後、がたつきがあったり、簡単に抜けてしまう場合は、使用しないでください。火災、感電の原因となります。

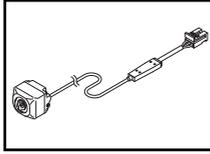
構成品と各部の名称

構成部品

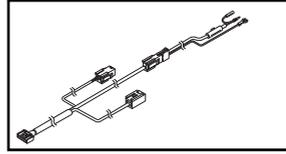
本体関係



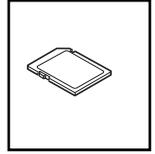
① 本体
× 1



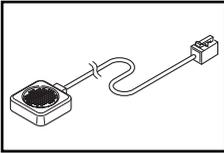
② カメラ
× 1



③ 接続コード
× 1

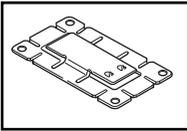


④ SD メモリー
カード × 1

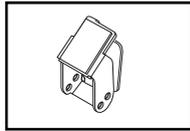


⑤ スピーカ
× 1

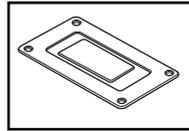
取り付け、配線関係



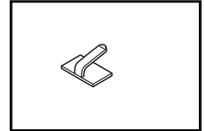
⑥ ブラケット
(本体用) × 1



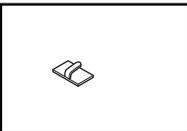
⑦ ブラケット
(カメラ用) × 1



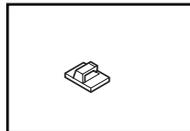
⑧ 両面テープ
× 1



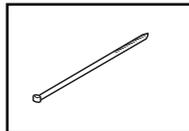
⑨ クランプ金属製(大)
× 2



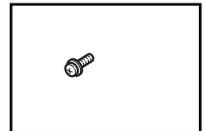
⑩ クランプ金属製(小)
× 1



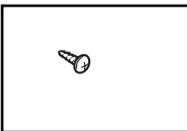
⑪ クランプ樹脂製
× 5



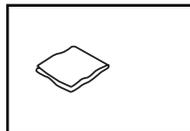
⑫ バンドクランプ
× 4



⑬ 座金付ねじ
(M3 × 6) × 2

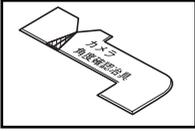


⑭ タッピングねじ
(4 × 12) × 4

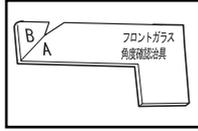


⑮ クリーナ
× 1

調整治具関係（包装箱に印刷）



⑯ カメラ角度確認治具
× 1



⑰ フロントガラス角度
確認治具 × 1

・包装箱から切り取って使用してください。

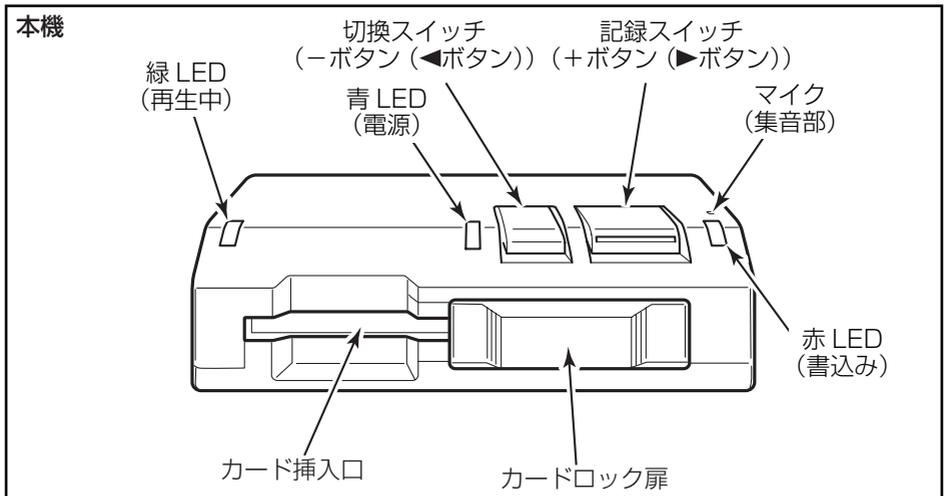
用意していただくもの



クリップ（市販品）
× 1

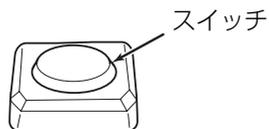
・クリップは、製品に付属しておりません。カメラ角度調整に必要ですので、市販のものを別途、購入してください。

各部の名称



※本書のスライド方向 (右、左) は、上記の図に対して説明しています。

外付け記録スイッチ (別売 DRSW10)



外付け記録スイッチは、本体の記録スイッチと同じ動作をします。

LED表示と案内音 / ガイダンス音声の内容

LED表示

再生中 (緑LED)	電源 (青LED)	書込み (赤LED)	状態	備考
消灯	消灯	消灯	電源OFF	
消灯	点灯	消灯	電源ON	
消灯	点灯	※1 消灯または点灯	記録モード	
点灯	点灯	消灯	ビューアモード 設定モード	
消灯	点灯	消灯 ↓ 点灯 ↓ 消灯	映像書込み中	
消灯	点灯 ↓ 消灯 ↓ (0.5秒点灯/1.5秒 消灯の繰返し)	※1 消灯または点灯	RTC異常(日時異常)	本体の日時を修正してください。 (P.45,P.66) 参照
点灯 ↓ 消灯 ↓ (1秒間隔で交互点滅 の繰返し)	消灯	消灯 ↓ 点灯 ↓ (1秒間隔で交互点滅 の繰返し)	オフセット設定異常	本体が固定されているか確認し、オフセット設定を行ってください。 (P.30) 参照
点灯 ↓ 消灯 ↓ (0.5秒点灯/1.5秒消灯の繰返し)	点灯 ↓ 消灯 ↓	点灯 ↓ 消灯 ↓	カード開閉 カード未挿入 カード異常	SDメモリーカードを挿入し、 カードロック扉を閉じてください。
点灯 ↓ 消灯 ↓ (0.5秒間隔で交互点滅の繰返し)	消灯 ↓ 点灯 ↓	点灯 ↓ 消灯 ↓	ハード異常	電源を入れなおしてください。 復帰しない場合は、本体の取り 付け、接続、カメラ配線の接続 を確認してください。

※1 映像や画像の書込み状態により異なる場合があります

案内音 / ガイダンス音声

案内音またはガイダンス音声	状態	備考	動作音量	イベント音量	エコガイド
「起動しました。」	正常に起動しました		○	—	—
ピピッ	衝撃を検知して記録を開始します。		○	—	—
ピプッ	映像を正常に保存できました。		—	○	—
ブッ、ブプッ、ププブッ	操作時に鳴ります。	スイッチによる操作時の操作音です。	—	○	—
ブーブーブー (3回鳴る)	映像記録中にスイッチを押すと、記録出来ない場合があります。		—	○	—
	スイッチを押していない時に鳴る場合。映像や画像の保存ができませんでした。	カードの異常が考えられます。再セットアップをお願いします。(P.68) 参照	—	—	—
ピーッピーッピーッ・・・ (鳴り続ける) (※)	扉が開いたままになっています。カードが挿入されていません。記録スイッチを押すと案内音が止まりますが、本機は動作していませんのでご注意ください。	SDメモリーカードを挿入し、カードロック扉を閉じてください。	—	—	—
ピーーッピーーッピーーッ・・・ (鳴り続ける) (※)	カードが書き込み禁止になっています。記録スイッチを押すと案内音が止まります。	カードの「LOCK」を解除し、カードを再挿入してください。	—	—	—
ピーーピーーピーー	記録される日時が異常になっています。	本体の日時を修正してください。	—	—	—
「オフセット設定をしてください」または「もう一度オフセットをしてください」 (※)	オフセット設定未実施。またはオフセット設定実施後、設置場所・方向が変更されている。	設定をし直してください。本体が固定されていることを確認してオフセット設定を実施してください。(P.30) 参照	—	—	—
ピーーピーーピーーピーー (5回鳴る)	SDメモリーカードのフォーマット異常の可能性が	SDメモリーカードを再セットアップしてください。(P.68) 参照	—	—	—

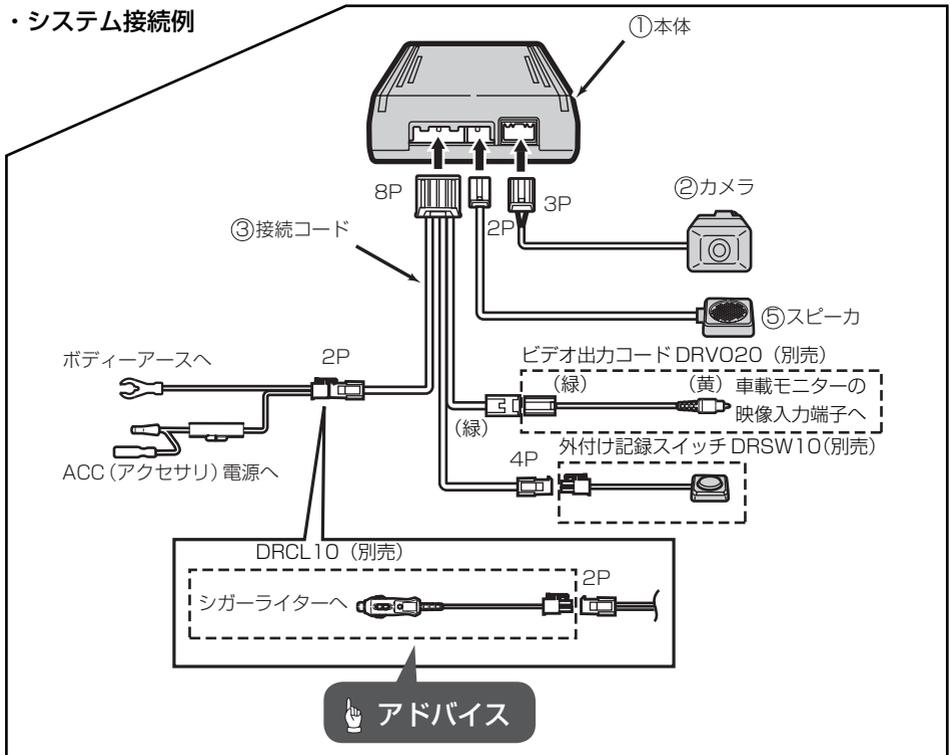
案内音またはガイダンス音声	状態	備考	動作音量	イベント音量	エコガイダンス
ピープーピープー・・・ (鳴り続ける) (※)	ハード異常です。 記録スイッチを押すと案内は止まりますが、本機は動作していませんのでご注意ください。	電源を入れなおしてください。復帰しない場合は、本体の取り付け、接続、カメラ配線の接続を確認してください。	—	—	—
ポーン 「危険運転です。」	衝撃を検知しました。		—	—	○
ポーン 「そのまま安全運転を続けてください」または「安全運転を心掛けてください」または「運転に注意してください」	カード扉を閉めてから15分間の運転状態により案内します。		—	—	○
ポーン 「長時間の運転お疲れさまです。そろそろ休憩してはいかがですか？」	カード扉を閉めてから2時間毎に案内します。		—	—	○

- ・動作音量 : 動作音量設定により音量設定できます。(P.46、P.62)参照
- ・イベント音量 : イベント音量設定により音量設定できます。(P.46、P.62)参照
- ・エコガイダンス音量 : エコガイダンス音量設定により音量設定できます。(P.46、P.62)参照
上記以外の案内音量の変更はできません。

取り付け

接続方法

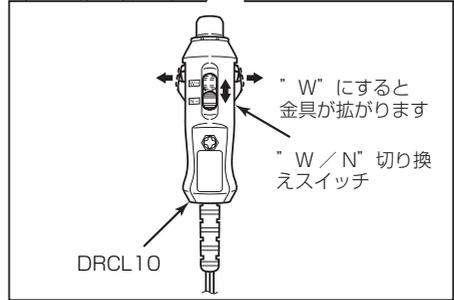
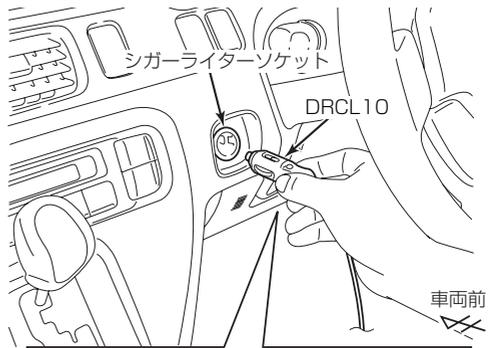
・システム接続例



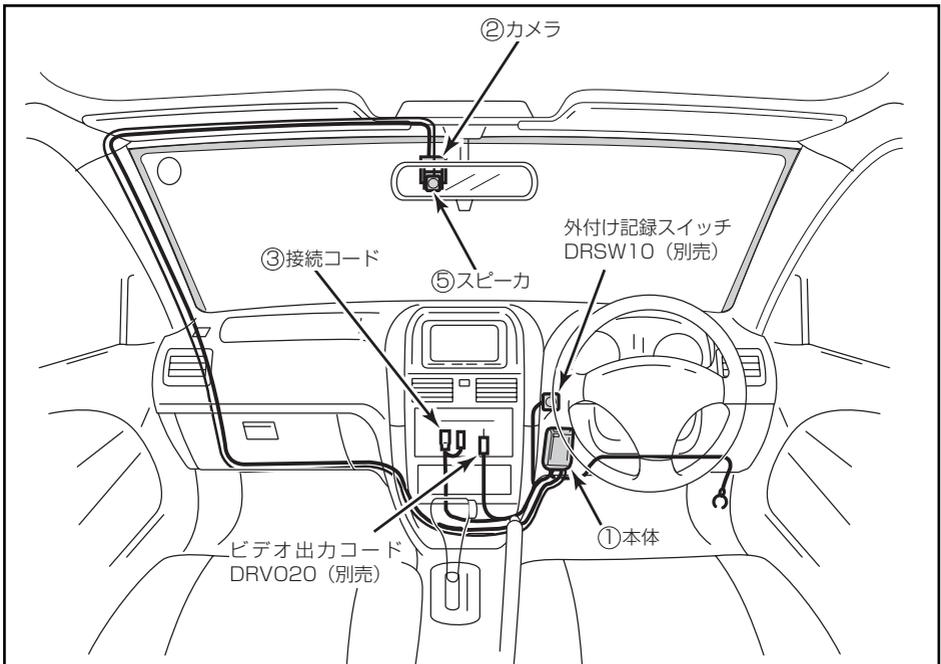


●本機は、別売のDRCL10（ドライブレコーダー用シガーライター電源コード）を使用してシガーライターソケットからも簡単に電源をとれるようになっておりますが、車両によって常時、電源供給されていたり、接触不良により電源供給が、寸断される場合があります。この場合は、付属の接続コード③を使用し車両のアクセサリ電源ラインから電源を取得することをお勧めいたします。

●シガーライターソケットから電源を取得する場合、車両のシガーライターソケットの口径に合わせて、DRCL10 先端の金具の幅を調整してください。接触が不十分な場合、本機が正常に動作しません。



取付概要図



カメラの取り付け

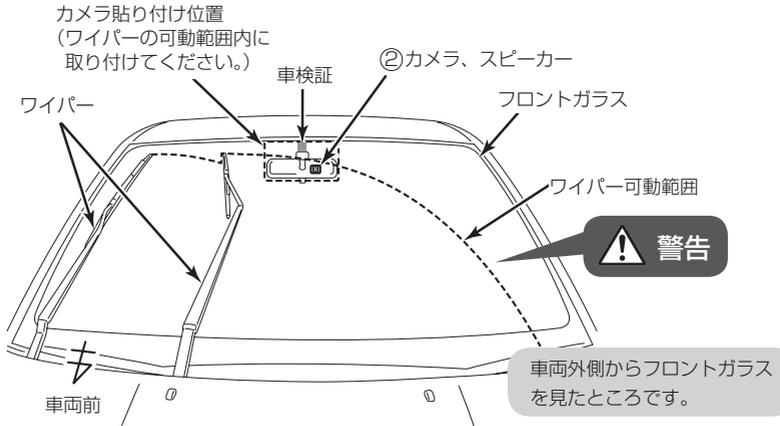
取り付け上のご注意



アドバイス

- 湿度が多い時は、屋外での取り付けはしないでください。
(粘着力が弱くなり、走行中にはがれる危険性があります。)
- 貼り付け面の汚れ(油分、水滴)をきれいに拭き取ってください。
特に水滴は両面テープの性能を劣化させますので注意してください。
(粘着力が弱くなり走行中にはがれる危険性があります。)
- 気温が低い(20℃以下)と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、粘着面を暖めてから貼り付けてください。
カメラ本体やレンズ部分には、ドライヤー等を使用しないでください。
- 取り付け後、引っ張る等、無理な力を加えないで自然放置してください。
- 確実に装着させるために付属のクリーナでガラスをきれいに拭いてください。
- ブラケットを十分な力で押えつけて両面テープの貼りムラが無いか確認してください。貼りムラがあるとその部分から水分等が侵入して走行中にはがれる危険性があります。必ずガラスの裏から気泡が無いか確認してください。
- 一度取り付けした物は両面テープの粘着力が弱くなりますので再貼り付けしないように注意して取り付けしてください。
- 取り付け後ガラス部を拭く場合は両面テープに水分がかからないようにしてください。粘着面の貼りムラから水分が侵入して粘着力が弱くなり走行中にはがれる危険性があります。

カメラ、スピーカー取付概要図



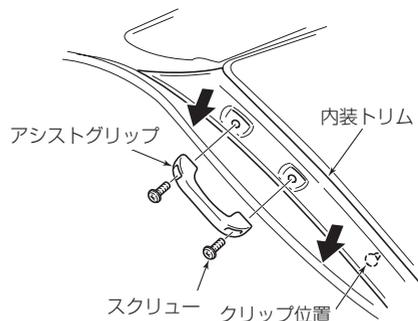
警告

- カメラはフロントガラス内側のルームミラー付近に取り付けてください。その他の場所への取り付けは、行わないでください。
(詳細は自動車検査法人審査事務規定 第5章 5-47を参照願います。)
- カメラは、車検証と重ならないように取付位置を決めてください。
- ワイパーの可動範囲内にカメラを取り付けてください。ワイパーの可動範囲外にカメラを取り付けると雨天の際、鮮明な映像が撮影できない可能性があります。
- カメラの撮影範囲には、黒セララインまたは、黒セラドットパターンなどの着色範囲を避けて取り付けてください。
- スピーカーはカメラブラケットに取り付けてください。
フロントガラス上に取り付けた場合、車検に適合しません。

1

車両内装トリムを取り外す。

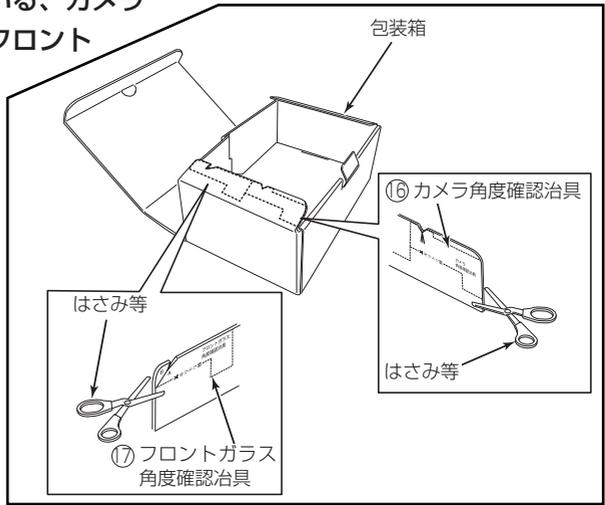
－内装トリム取り外し(例)－



アドバイス

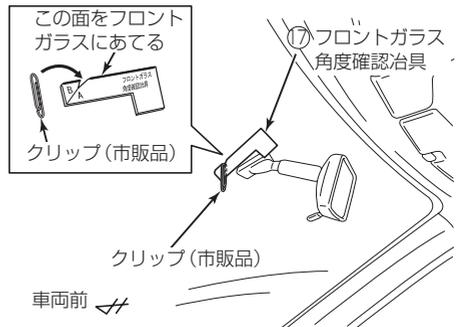
- 樹脂製の内装トリムは、クリップや、ネジ等で固定されており、無理に外すと破損したり変形する事があります。
- 取り外し作業が困難な場合は、車のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください。
(作業工賃はお客様にご負担いただく場合があります。)

2 包装箱に印刷されている、カメラ
角度確認治具およびフロント
ガラス角度確認治具
を切り取る。



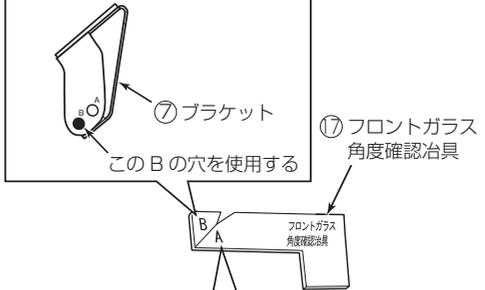
3 フロントガラス角度確認治具の切り欠きクリップ（市販品）を引っ掛ける。

4 フロントガラスにフロントガラス角度確認治具をあてクリップ（市販品）がAの範囲、Bの範囲、どちらにあるかを確認する。



- フロントガラス角度確認治具は、包装箱に印刷してあります。はさみ等で切り取って使用してください。
- フロントガラスの傾斜は、必ず車室内から測ってください。
- フロントガラス角度確認治具をフロントガラスにあてた際、引っ掛けたクリップがAの範囲を指した場合、ブラケット（カメラ用）の取り付け穴はAを使用して取り付けてください。
- フロントガラス角度確認治具をフロントガラスにあてた際、引っ掛けたクリップがBの範囲を指した場合、ブラケット（カメラ用）の取り付け穴はBを使用して取り付けてください。

[クリップがBの範囲にある場合]



[クリップがAの範囲にある場合]

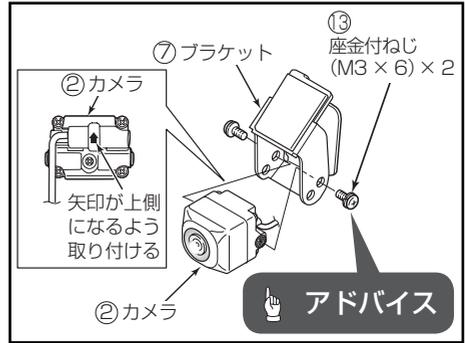


5 カメラにブラケットを取り付ける。



アドバイス

●カメラを車両に取り付け後、カメラの角度調整を行いますのでカメラをブラケットに取り付ける際、ねじは本締めしないでください。



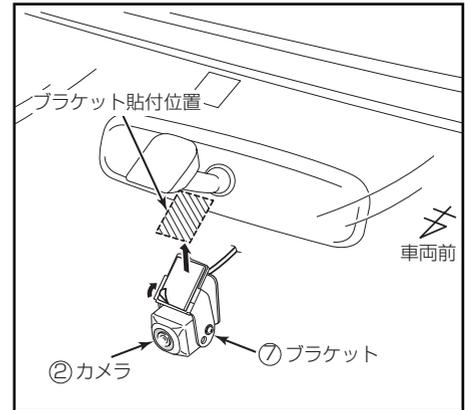
6 カメラ取り付け位置を決め、テープ等でマーキングする。

7 ブラケットを貼り付ける部分の汚れ、水分、油分等を付属のクリーナ（布）できれいにふき取る。



アドバイス

フロントガラスに付着している水分は、十分に乾かせてください。



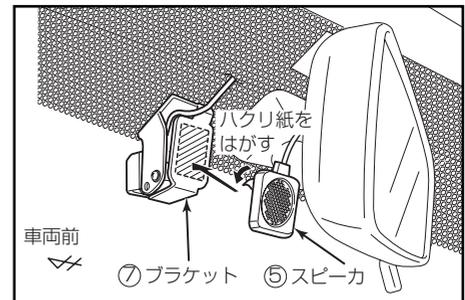
8 ブラケットの両面テープのハクリ紙をはがし、ガラス面の平らな面へ取り付ける。



アドバイス

- 貼り付けた後は、確実に密着するようブラケットを十分押し付けてください。
- 気温が低い（20℃以下）と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、粘着面を暖めてから貼り付けてください。
- カメラ本体やレンズ部分にドライヤーの熱風を吹きかけたり、熱を加えたりしないでください。
- ブラケット貼り付け後、車両外側から見て貼り付けテープの部分に気泡がないことを確認してください。

9 スピーカの両面テープのハクリ紙をはがし、ブラケット（ガラス用）の平らな面へ取り付ける。



10 カメラ角度確認治具の切り欠きにクリップ（市販品）を引っ掛ける。



カメラ角度確認治具は、包装箱に印刷してあります。はさみ等で切り取って使用してください。

11 カメラ底面にカメラ角度確認治具をあてる。

12 カメラが水平になるよう座金付ねじを緩め、カメラの角度を調整する。



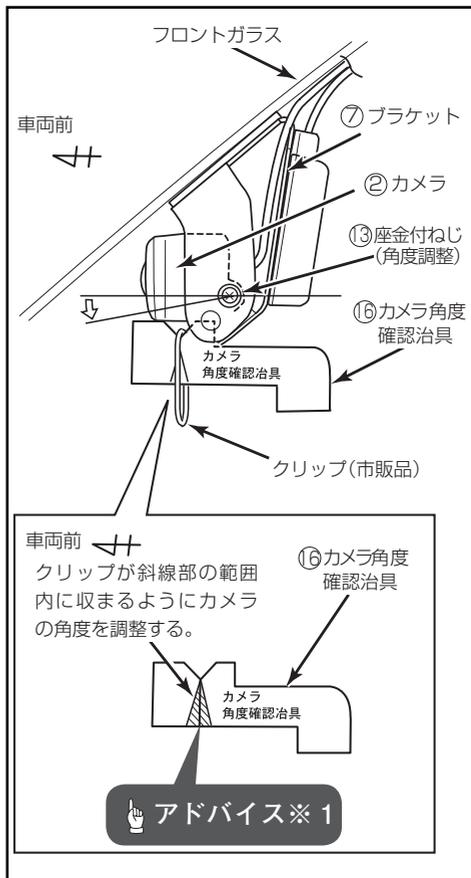
カメラ角度確認治具をカメラにあてた際、引っ掛けたクリップがカメラ角度確認治具の斜線部の範囲内に収まるようにカメラの角度を調整してください。

13 カメラの角度調整後、座金付ねじをしっかりと締め付けカメラを固定する。

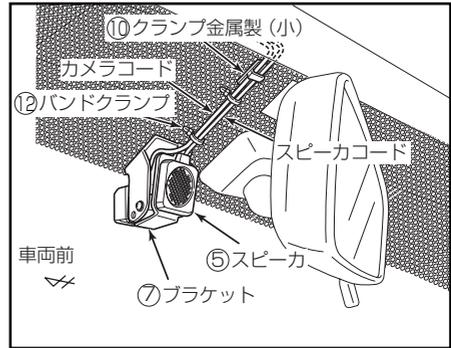


- カメラの角度調整の際、コードが突っ張らないように注意してください。
- 座金付ねじは時々点検し、緩みがある場合は増し締めをしてください。

—角度調整—



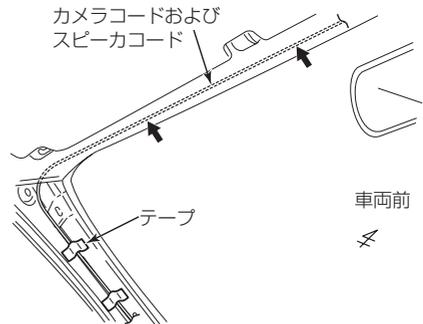
- 14** カメラコードおよびスピーカコードをクランプ金属製（小）とバンドクランプで固定しながら配線する。



アドバイス

- ブラケット貼付部に負担がかからないように配線してください。
- クランプ金属製（小）は、必ず黒セララインまたは黒セラドットパターンの中に貼り付けてください。
黒セララインまたは黒セラドットパターンがない場合は、クランプ金属製（小）は使用しないでください。

- 15** カメラコードおよびスピーカコードをテープなどで固定しながら、本体の取付位置まで配線する。

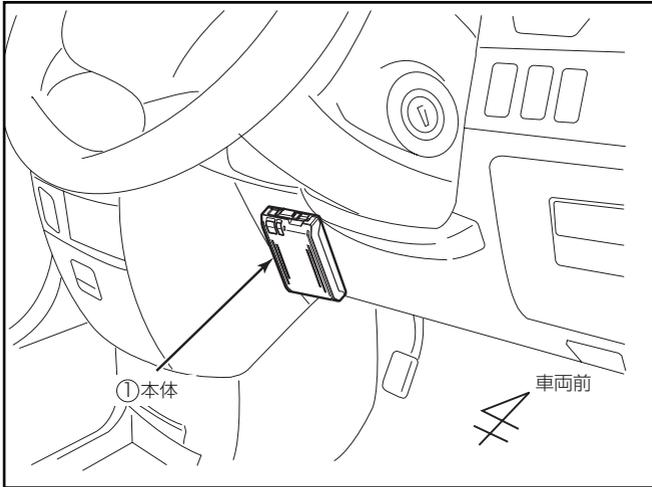


アドバイス

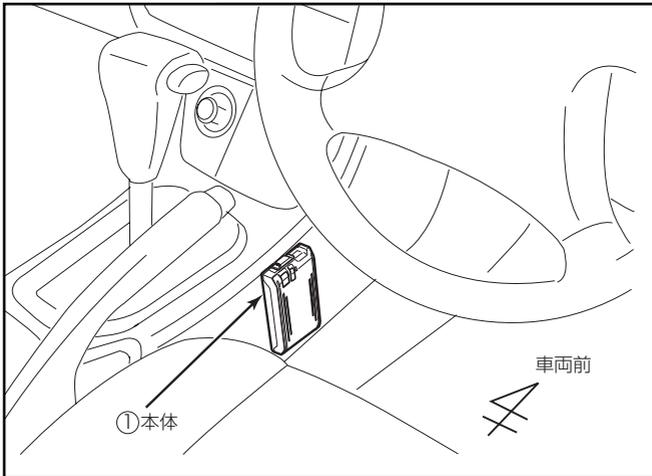
- カメラコードおよびスピーカコードは、ルーフヘッドライニングの中に配線し、はみ出さないようにしてください。
- ルーフヘッドライニングに隙間がありカメラコードおよびスピーカコードがはみ出してくる場合は、カメラコードおよびスピーカコードにテープ等を巻き付けてルーフヘッドライニング内に押し込んでください。
- ルーフヘッドライニングに無理な力を加えてルーフヘッドライニングが折れ曲がらないよう注意してください。
- カメラコードおよびスピーカコードは、車両クリップ穴やネジ穴等をふさがないように配線してください。
- 車両内装トリムを復元した際、コードにかみ込みが無い事を確認してください。

本体の取付概要図

取付例 1



取付例 2



・ 本体の取付角度制限はありません。



アドバイス

- しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。衝撃を正しく検知できず、誤って作動したり衝撃があっても作動しないことがあります。
- 音声を録音するためのマイク（集音部）は本体に内蔵されています。本体が覆われるようなところへ取付けると、音量が小さくなったり、正常に音声を録音できないことがあります。
- 本体は SD メモリーカードの操作がしやすく、本体 LED ランプの点灯状態などが確認しやすい場所に取り付けてください。

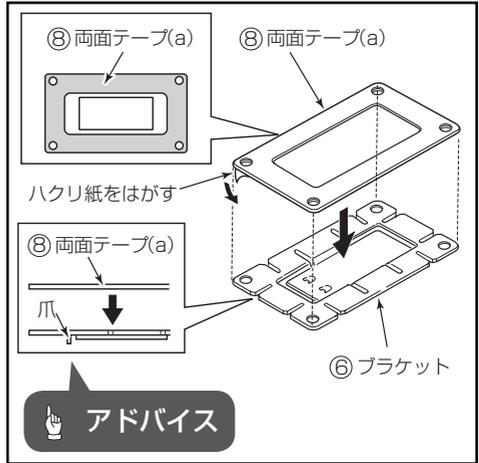
本体の取り付け

本体取り付け後、必ずオフセット設定 (P.30) を実施してください。購入後一度も実施していない場合、オフセット設定エラー (P.16) のガイダンス音声流れます。

1 本体用ブラケットに両面テープを貼り付ける。



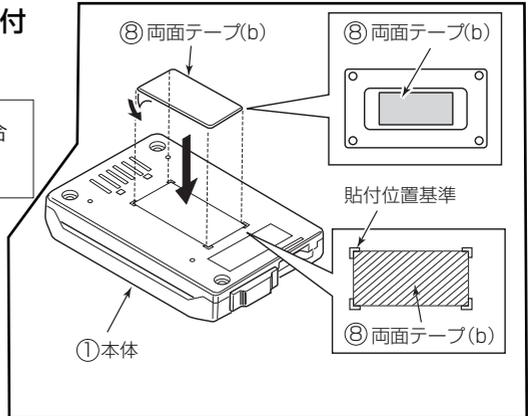
両面テープは、ブラケットの爪が出ていない面に貼り付けてください。



2 本体裏面に両面テープを貼り付ける。



両面テープは、貼付位置基準に合わせて貼り付けてください。

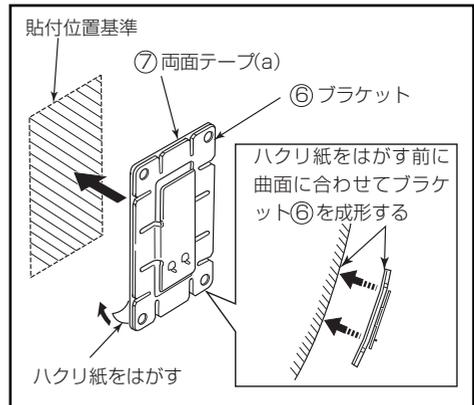


3 車両の貼付位置の形状に合わせてブラケットを成形する。

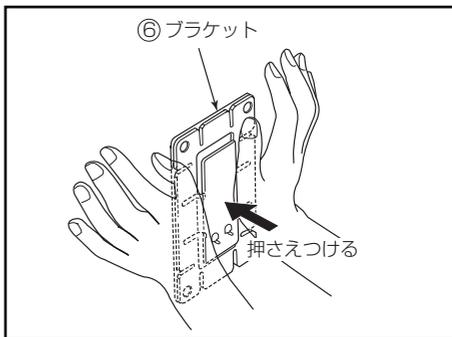
4 ブラケットを車両の貼付位置に貼り付ける。



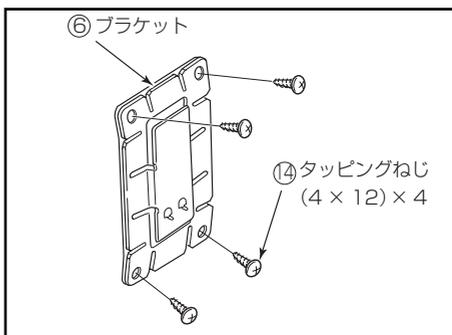
ブラケットの両面テープのハクリ紙は、成形後にはがしてください。



- 5** ブラケットを十分接着させるため貼付け面にブラケットを押し付ける。



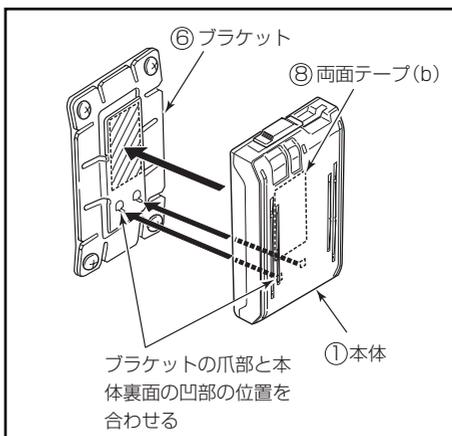
- 6** ブラケットをタッピングねじで固定する。



- 7** 本体の両面テープのハクリ紙をはがし本体をブラケットに貼り付ける。



本体用ブラケットの爪部分と本体裏面の凹部分を位置合わせて貼り付けてください。



外付け記録スイッチの取り付け（別売 DRSW10）

外付け記録スイッチは本体内蔵の記録スイッチと同様の操作が可能です。

- 1 外付け記録スイッチをクラスターパネルの右横等、操作性の良い位置に取り付ける。

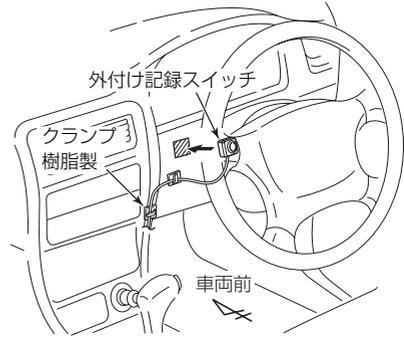


- 運転操作の妨げになるような場所には取り付けないでください。
- 直射日光が当たるような場所には取り付けないでください。

- 2 外付け記録スイッチコードをクランプやテープで固定しながら本体取付位置まで配線する。



- コードを配線する際は、運転操作の妨げにならないように配線してください。



動作確認手順

必ず、実施してください！

ドライブレコーダー本体の取付状態を認識させるためにオフセット設定を行います。ドライブレコーダーの本体が固定されていなかったり、取付後のオフセット設定が行われていないなど、本機の取付状態に問題がある場合、衝撃を正しく検知できず、誤って作動したり、衝撃があっても検知できず映像が記録できないことがあります。

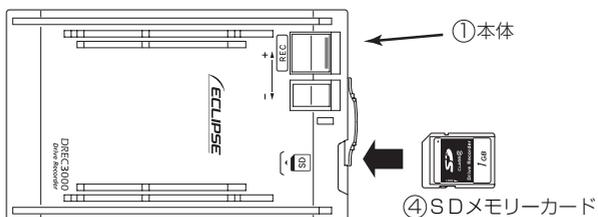
必ず、正しく動作していることを確認してください。取り付け後のオフセット設定および確認は、車両を水平な場所に停車させて、実施してください。

1 本機の電源が切れている状態で、本体にSDメモリーカードを挿入してカードロック扉を閉めてください。



注意

- SDメモリーカードの抜き挿しは、本機の電源が切れていること（全てのLEDが消灯）を確認して行ってください。本機が動作中にSDメモリーカードの抜き挿しを行うと、SDメモリーカードが破損する恐れがあります。
- カードロック扉を右にスライドさせ、付属のSDメモリーカードをカード挿入口から挿入します。
- SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチは「Lock」解除の状態ですら挿入してください。
- SDメモリーカードは、ロゴがある面を上にして挿入してください。
- SDメモリーカードを本機に挿入する場合、向きに注意して挿入してください。SDメモリーカードを挿入したあとは、カードロック扉をカチッと音がする所まで左にスライドさせてください。



2 オフセット設定を行います。

記録スイッチを押しながら、車のエンジンをかけてください。

「オフセット設定しました」とガイダンスが流れたらオフセット設定完了です。

記録スイッチから手を離してください。

（車のエンジンをかけてから、約4秒後にガイダンスが流れます。）

ガイダンスが確認できない場合、再度オフセット設定を実施してください。

- 3 本体が起動します。青LEDが点灯した後、「起動しました」とガイダンスが流れると、起動完了です（約9秒程度かかります）。
- 4 起動完了後、録音状態を確認するため、ラジオやオーディオの音を鳴らした状態にします。
- 5 記録スイッチを1秒以上押すと案内音が「ブプッ」と鳴り、手を離すと撮影が開始され、赤LEDが点灯します。赤LEDが消灯すると記録終了です。



注意

SDメモリーカードへの記録中（赤LEDが点灯中）は、絶対にSDメモリーカードを抜かないでください。SDメモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障する恐れがあります。



アドバイス

後ほどパソコンで撮影日時を確認するため、記録スイッチを押した時の時間を控えておいてください。

- 6 車両のエンジンキーをオフにします。全てのLEDが消灯すると、電源が切れた状態です。
- 7 カードロック扉を右にスライドさせ、SDメモリーカードの中央付近を軽く押し込み手を離してください。SDメモリーカードが少し飛び出しますのでSDメモリーカードを取り出してください。



注意

- SDメモリーカードを抜く場合、本機の電源が切れていること（全てのLEDが消灯）を確認し、カードロック扉を右にスライドし、SDメモリーカードの中央付近を軽く押し込み手を離してください。SDメモリーカードが少し飛び出しますのでSDメモリーカードを取り出してください。
- SDメモリーカードを挿入しない場合、本機は動作しません。SDメモリーカードを取り出した場合は、入れ忘れにご注意ください。SDメモリーカードが無い場合は、案内が「ピーッピーッピーッ・・・」と鳴りつづけます。記録スイッチを押すと案内は止まりますが、本機は動作していませんのでご注意ください。

- 8 パソコンでビューアソフトを起動し、撮影した映像を確認します。（パソコンでの映像の見方は、「P.51 記録した映像を見る」をご参照ください。）

確認のポイント

- ・撮影したい方向にカメラが向いているか。
- ・音声録音できているか。
- ・日時が合っているか。
- ・スピーカーから音が聞こえるか。

上向きになりすぎている（空ばかり）、下向きになりすぎている（ボンネットやダッシュボードばかり）ときは、カメラの取付角度を修正してください。

密閉された場所への取り付けで音声録音されていない場合や、音声が聞こえにくい場合は本体取り付け位置の変更をしてください。

日時がずれている場合、ビューアソフトの P.45 または P.66 の手順で日時を修正してください。

本体の操作方法



注意

オフセット設定が正しく行われていることを確認して使用してください。

起動する

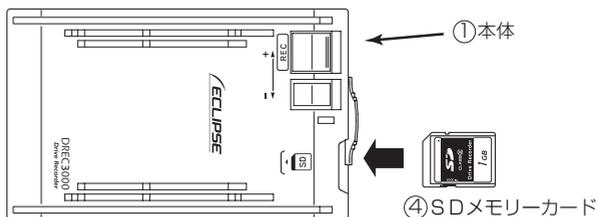
- 1** 本機の電源が切れている状態で、カードが挿入されていることを確認してください。

カードが挿入されていない場合は、カードを挿入してください。



注意

- SDメモリーカードの抜き挿しは、本機の電源が切れていること（全てのLEDが消灯）を確認して行ってください。本機が動作中にSDメモリーカードの抜き挿しを行うと、SDメモリーカードが破損する恐れがあります。
- カードロック扉を右にスライドさせ、添付のSDメモリーカードをカード挿入口から挿入します。
- SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチは「Lock」解除の状態ですべて挿入してください。
- SDメモリーカードを本機に挿入する場合、向きに注意して挿入してください。SDメモリーカードを挿入したあとは、カードロック扉をカチッと音がする所まで左にスライドさせてください。



- 2** 車両のエンジンキーをオンにすると電源が入ります。青LEDが点灯します。その後、「起動しました」とガイダンスが流れると、起動完了です（約9秒程度かかります）。

終了する

- 1 車両のエンジンキーをオフにします。全てのLEDが消灯すると、電源が切れた状態です。
- 2 記録した映像を見たい場合は、SDメモリーカードを取り出します。カードロック扉を右にスライドさせ、SDメモリーカードの中央付近を軽く押し込み手を離してください。SDメモリーカードが少し飛び出しますのでSDメモリーカードを取り出してください。



注意

- SDメモリーカードへのデータ書き込み中（赤LEDが点灯中）は、絶対にSDメモリーカードを抜かないでください。SDメモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障する恐れがあります。
- SDメモリーカードを抜く場合、本機の電源が切れていること（全てのLEDが消灯）を確認し、カードロック扉を右にスライドし、SDメモリーカードの中央付近を軽く押し込み手を離してください。SDメモリーカードが少し飛び出しますのでSDメモリーカードを取り出してください。
- SDメモリーカードを挿入しない場合、本機は動作しません。SDメモリーカードを取り出した場合は、入れ忘れにご注意ください。SDメモリーカードが無い場合は、案内が「ピーーッピーーッピーーッ…」と鳴りつづけます。

映像を記録する（記録モード）

■ イベントメモリーの場合

急ブレーキ、急ハンドル等による加速度や衝撃を検知したり（オート）、記録スイッチを1秒以上押すと「ブブツ」となりますので、手を離すと、検知前12秒、検知後8秒の映像と音声を記録します。

記録中は赤LEDが点灯します。案内が鳴り、赤LEDが消灯すると記録終了です。



注意

SDメモリーカードへの記録中（赤LEDが点灯中）は、絶対にSDメモリーカードを抜かないでください。SDメモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障する恐れがあります。



アドバイス

一度検知してから次の検知までの間隔により、映像が短い場合や長い場合があります。

事故が発生しても、衝撃が弱いなどの原因で衝撃を検知できない場合があります。その場合は、記録スイッチを1秒押し（以下、長押しと呼ぶ）て、映像の記録を行ってください。



警告

安全のため運転中に操作しないでください。運転中の操作は事故につながる恐れがあります。車を停車させてから操作してください。



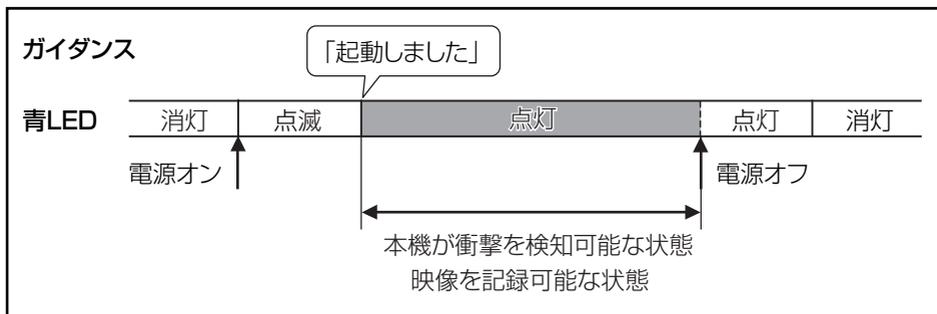
アドバイス

- 記録できる映像は15件（イベントメモリー（オート）10件、イベントメモリー（マニュアル）5件）です。これを超える場合は、古いものから上書き保存していきます。
- 長押しの操作は案内が「ブブツ」と鳴った直後にスイッチを離してください。

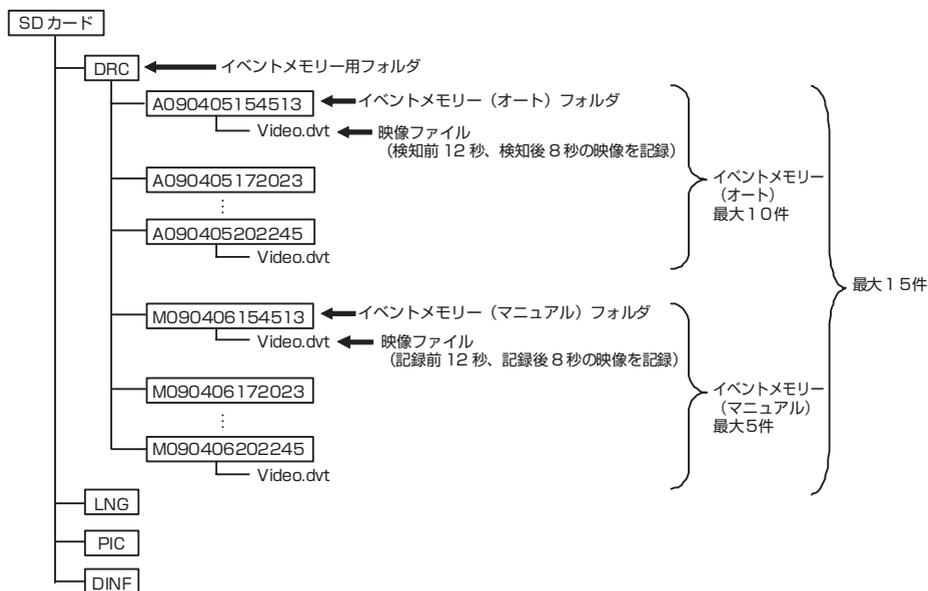
本機が衝撃を検知し映像を記録できる状態は、正常に起動してから電源をオフするまで（次ページ上図の網掛範囲）です。

本機は、事故の衝撃で電源が遮断される場合を想定し、バックアップ電源を内蔵しています。バックアップ電源は充電式のため、電源オン直後や低温下では、バックアップ時間が短くなる場合があります。バックアップ電源により、電源遮断前*の映像を記録しますが、必ず記録することを保証するものではありません。

※映像のコマ数が少なくなり、記録時間も短くなります。



□ イベントメモリーフォルダ構成



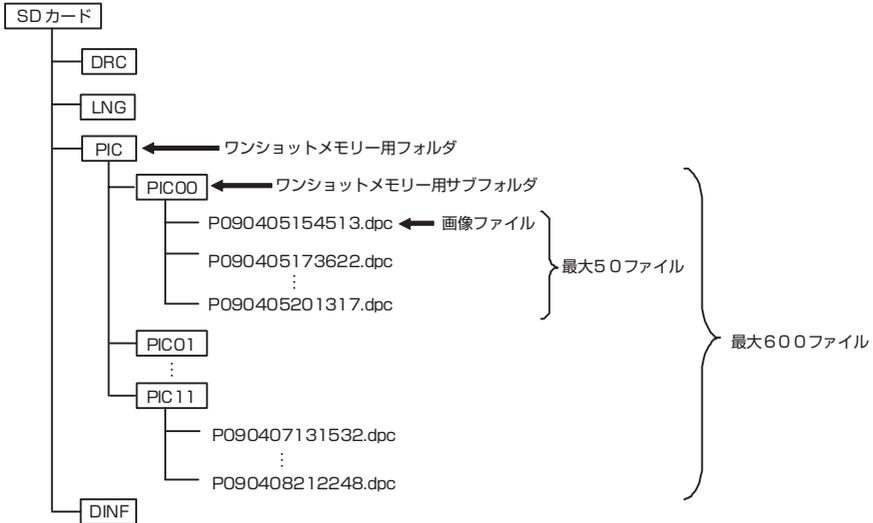
■ ワンショットメモリーの場合

本機の記録スイッチを押すと、1枚の静止画を記録します。



- スイッチによるワンショットメモリー件数は、最大600枚でサブフォルダに50枚毎に保存します。600枚を超えたら上書きを行います。
- スイッチを押してすぐに手を離すと「ブツ」と案内音が鳴り、1枚の静止画を記録します。

□ ワンショットメモリーフォルダ構成



パソコンで画像のファイルの一部を削除した場合、600枚に満たない場合があります。

■ ビデオメモリーの場合

本機の記録スイッチを3秒以上押し続けたところから、ビデオメモリーを開始します。

ビデオメモリー中は、映像と音声を記録し続けます。

ビデオメモリーの終了は、容量一杯になるか、ビデオメモリー状態中に本機の記録スイッチを3秒以上押し続けた時点で終了します。

ビデオメモリーは、上書き「する」・「しない」の設定があり、初期状態は上書き「する」です。

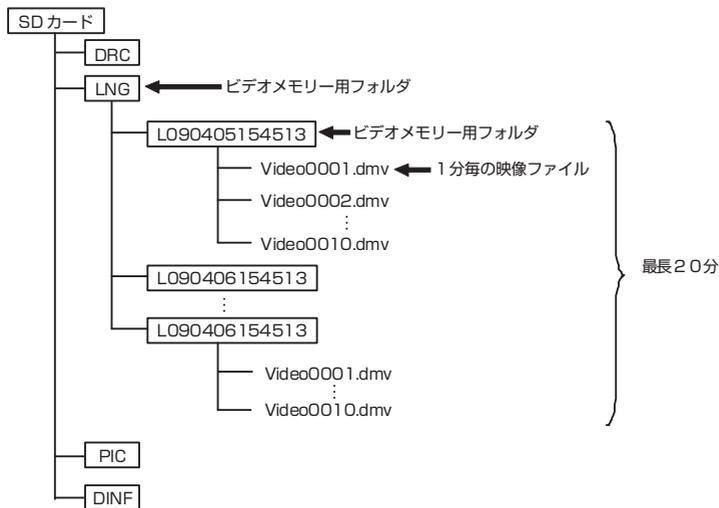
上書き「しない」設定の場合、容量が一杯となった時点で、ビデオメモリーの映像を消去しない限り、ビデオメモリーは行えません。

上書きあり設定の場合、容量が一杯となった後も、再度ビデオメモリーを実施できます。



- ビデオメモリーで撮影できる映像は最長20分です。
- 3秒以上押し続けると案内が「ブブブ」となります。長押しで「ブブ」
と鳴りますので間違わないようにご注意ください。

□ビデオメモリーフォルダ構成



エコガイダンスを行う

■ 危険運転ガイダンス

急ブレーキ、急ハンドルなどによる加速度や衝撃を検知した場合に、「危険運転です」とガイダンスを行います。

ガイダンスを行うための感度は、「エコガイダンス感度」設定にて変更が可能です。またガイダンス音量は「エコガイダンス音量」設定にて変更が可能です。

■ 運転診断ガイダンス

ドライブレコーダー起動後 15 分間の走行状態から運転傾向を分析し、以下のガイダンスを行います。

条件	ガイダンス内容
優	「そのまま安全運転を続けてください」
良	「安全運転を心掛けてください」
可	「運転に注意してください」

またガイダンス音量は「エコガイダンス音量」設定にて変更が可能です。

■ 長時間運転ガイダンス

ドライブレコーダー起動後 2 時間毎に「長時間の運転、お疲れ様です。そろそろ休憩してはいかがですか？」とのガイダンスを行います。

またガイダンス音量は「エコガイダンス音量」設定にて変更が可能です。

記録した映像を見る（ビューアーモード）

■ ビューアーモードの入り方

ビデオ出力コード DRVO20（別売）を用いてSDメモリーカードに保存されている映像を車載モニターなどの画面で見ることができます。

- 1 記録モード動作中に、切換スイッチを押したまま、記録スイッチを押し、1秒以上経過した時点で「ピッ」と案内が鳴り、ビューアーモードに移行します。



注意

車載モニター画面は、VTR 操作画面にしてください。

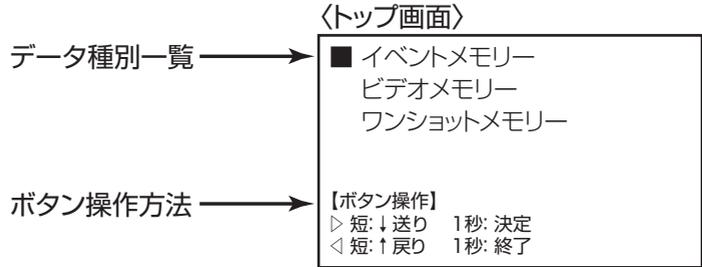
■ ビューアーモードの抜け方

下の3つの状態でビューアーモードから記録モードに移行します。

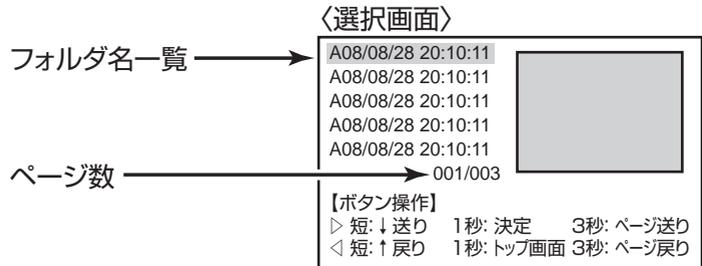
- ・操作しないまま1分が経過する。
（ワンショットメモリーの場合は3分）
※再生中の場合は移行しません。
- ・トップ画面にてーボタンを長押しする。
- ・電源をオフする。（次回起動時に記録モードに移行します）

■ ビューアーモードの操作方法と表示

- 1 ビューアーモードに移行すると、注意文が表示され、3秒後トップ画面が表示されます。
- 2 トップ画面で記録したデータ種別から、+ボタンや-ボタンを押して選び、+ボタンを長押しして決定します。



- 3 フォルダ名一覧から+ボタンや-ボタンを押して再生したい映像を選び、+ボタンを長押しして決定します。



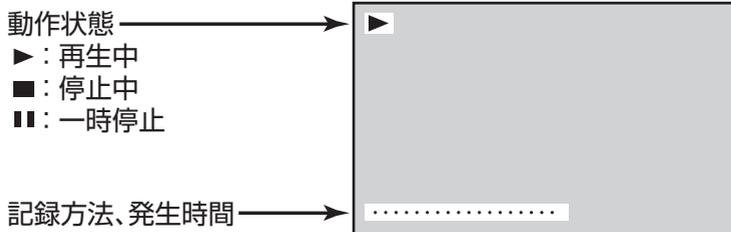
ワンポイント

- +ボタンまたは、-ボタンを3秒押しするとページを変更することができます。
- ページ数が複数ある場合もすべてのページで、-ボタンを長押しするとトップ画面にもどることができます。
- フォルダ名一覧は新しい映像から順番に並んでいます。

・映像再生の場合（イベントメモリー、ビデオメモリー）

画面の左下に「記録方法（A：イベントメモリー（オート）記録、M：イベントメモリー（マニュアル）記録、L：ビデオメモリー）」と「発生時間」を常に表示します。

画面の左上に、「動作状態（再生中、停止中、一時停止）」を表示します。



- 1** 映像再生中に+ボタンを押すと、再生を停止します。（一時停止）
一時停止中に+ボタンを押すと、再生を再開します。
- 2** 再生完了（停止）した状態で+ボタンを押すと、最初から再生します。
- 3** +ボタンを長押しすると、次に新しい映像を再生します。（最も古い映像だった場合は最新の映像を再生します。）
- 4** 再生中・一時停止中・停止中全ての画面で、-ボタンを3秒押しすると選択画面にもどることができます。

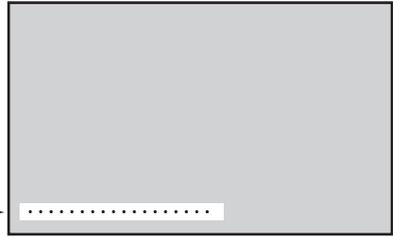


- SDメモリーカード内に映像データがなにもない状態で+ボタンを押すと、画面に「No Data」と表示されます。
- イベントメモリー（オート）記録、イベントメモリー（マニュアル）記録では一時停止から再生を再開する際、一時停止した1秒前から再生します。

・静止画像再生の場合（ワンショットメモリー）

画面の左下に「記録方法（P：ワンショットメモリー）」と「撮影時間」を常に表示します。

記録方法、撮影時間



- 1 +ボタンを押すと、次のデータを表示します。
- 2 -ボタンを長押しすると、データ選択画面に戻ります。



ワンポイント

SDメモリーカード内に映像データがなにもない状態で+ボタンを押すと、画面に「No Data」と表示されます。



注意

保存している画像が多いと、表示までに時間がかかります。

本体の設定を変更する（設定モード）

■ 設定モードの入り方

赤LEDが消えていることを確認してカードロック扉を開き、切換スイッチを押した後に記録スイッチを押したまま、カードロック扉を閉じると、設定モードに移行します。



赤LEDが点灯中（書込中）にカードロック扉を開くと、SDメモリーカードが破損する恐れがあります。必ず、赤LEDが消えていることを確認してください。

■ 設定モードの抜け方

下の2つの状態でビューアーモードから記録モードに移行します。

- ・ トップ画面にて+ボタンを長押しする。
- ・ 電源をオフする。（次回起動時に記録モードに移行します）

■ 設定モードの操作方法と表示

- 1** 設定モードに移行すると、トップ画面が表示されます。トップ画面で設定したい項目を+ボタンを押して選び、+ボタンを長押しして決定します。

〈トップ画面〉

《設定モード》

1. 時刻設定
2. 音量設定
3. 上書設定

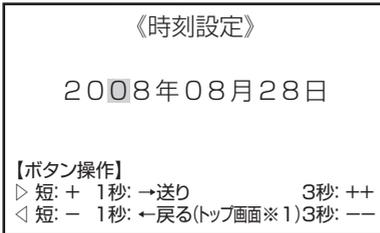
【ボタン操作】

- ▷ 短: ↓ 送り 1秒: 決定
◁ 短: ↑ 戻り 1秒: 終了

・時刻設定画面

- 1 +ボタンを押すと数値が上がります。また、-ボタンを押すと数値が下がります。
- 2 +・-ボタンを長押しして桁を移動します。
(桁は、"年" "月" "日" "時" "分" の順で移動します)
- 3 +ボタンを3秒押しすると数値が自動的に上がります。また、-ボタンを3秒押しすると数値が自動的に下がります。

〈時刻設定画面〉



※1

2008年 …… 最初の桁で-ボタンを長押しするとトップ画面へ戻ります。

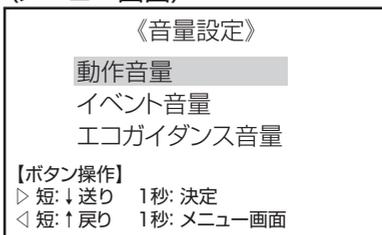
※2

10時10分 …… 最後の桁で+ボタンを長押しすると決定へ戻ります。

・音量設定画面

- 1 +・-ボタンを押して音量設定したい項目を選び、+ボタンを長押しして決定します。

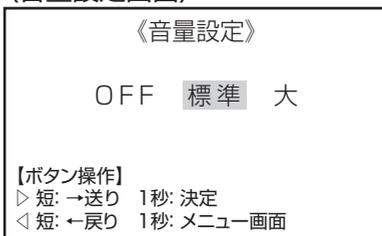
〈メニュー画面〉



- 動作音量は起動終了やイベントメモリー（オート）のときに鳴る案内です。イベント音量はスイッチ操作や映像を正常に保存したときに鳴る案内です。
- 音量設定で設定できる案内音・ガイドンス音声の内容は、P 16、17を参照してください。

- 2 +・-ボタンを押して「OFF」、「標準」、「大」の中から選び、+ボタンを長押しして決定します。

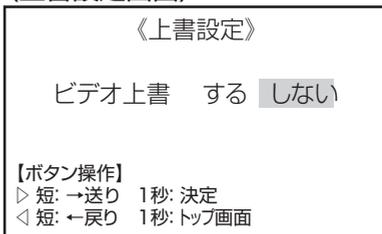
〈音量設定画面〉



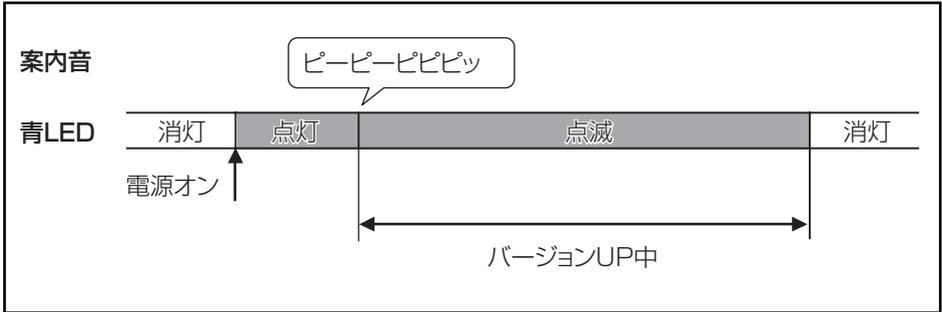
・上書設定画面

- 1 +・-ボタンを押して「する」、「しない」の中から選び、+ボタンを長押しして決定します。

〈上書設定画面〉



ドライブレコーダー本体のアプリケーションをバージョンUPする



- 1 本機の電源が切れている状態で、新しいアプリケーションの入ったカードが挿入されていることを確認してください。また、カードロック扉が閉まっていることを確認してください。
- 2 車両のエンジンキーをオンにすると、電源が入ります。青LEDが点灯します。この後、案内が「ピーピーピピピッ」と鳴るとバージョンUPが始まります。しばらくすると、LEDが消灯します。バージョンUPが完了し、自動的にアプリケーションが再起動します。



注意

- SDメモリーカードを使用しての本体バージョンUP中（青LEDが点滅中）は、絶対にSDメモリーカードを抜かないでください。SDメモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障する恐れがあります。
- SDメモリーカードを抜く場合、本機の電源が切れていること（全てのLEDが消灯）を確認し、カードロック扉を右にスライドし、SDメモリーカードの中央付近を軽く押し込み手を離してください。SDメモリーカードが少し飛び出しますのでSDメモリーカードを取り出してください。
- SDメモリーカードを挿入しない場合、本機は動作しません。SDメモリーカードを取り出した場合は、入れ忘れにご注意ください。SDメモリーカードが無い場合は、案内が「ピーーッピーーッピーーッ…」と鳴りつづけます。
- バージョンUP中にオフセット設定を行うことはできません。バージョンUPが完了して再起動した後にオフセット設定を行ってください。
- ドライブレコーダー本体のバージョンUPが必要になった場合ECLIPSE ホームページでご案内致します。（P.73）参照

ビューアソフトの操作方法

ビューアソフトをコピーする

はじめに、ビューアソフトをパソコン上で使用するために、デスクトップへコピーします。この操作は、ご購入後 1 回だけ行っていたければ十分です。

1 SDメモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンへ挿入します。

(SDメモリーカードスロットが搭載されているパソコンでは、SDメモリーカードスロットへそのまま挿入することができます。SDメモリーカードスロットが搭載されていないパソコンの場合はお客様でカードリーダーをご準備ください。)

2 エクスプローラで、SDメモリーカードのドライブを選択します。(エクスプローラは、キーボードのウィンドウズキーとEキーを同時に押すことで起動します。)

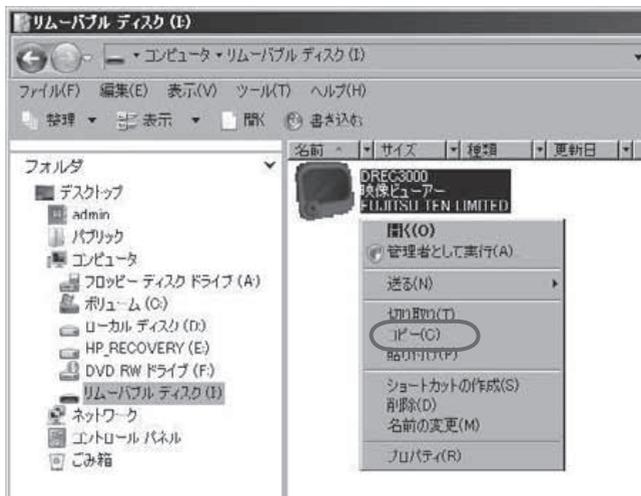


注意

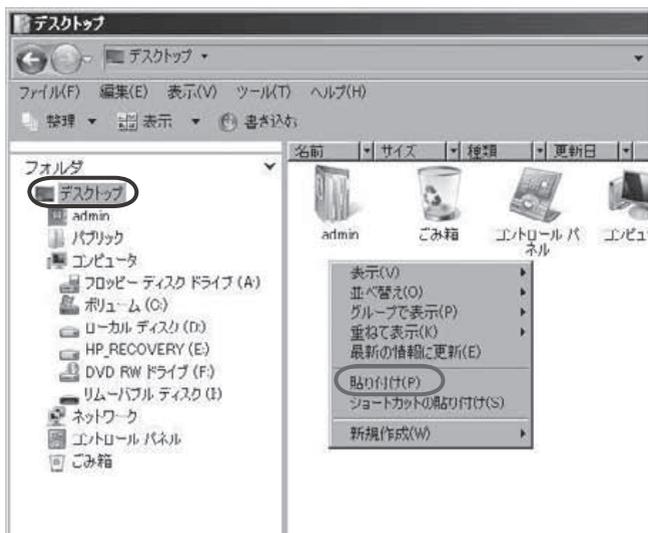
お使いのパソコンの設定によっては、ビューアソフト以外のファイルが見える場合がありますが、本体の動作に必要なファイルですので、削除しないようにご注意ください。もし誤って消してしまった場合は、SDメモリーカードの再セットアップをしてください。

⇒「SDメモリーカードを再セットアップする (P.68)」参照

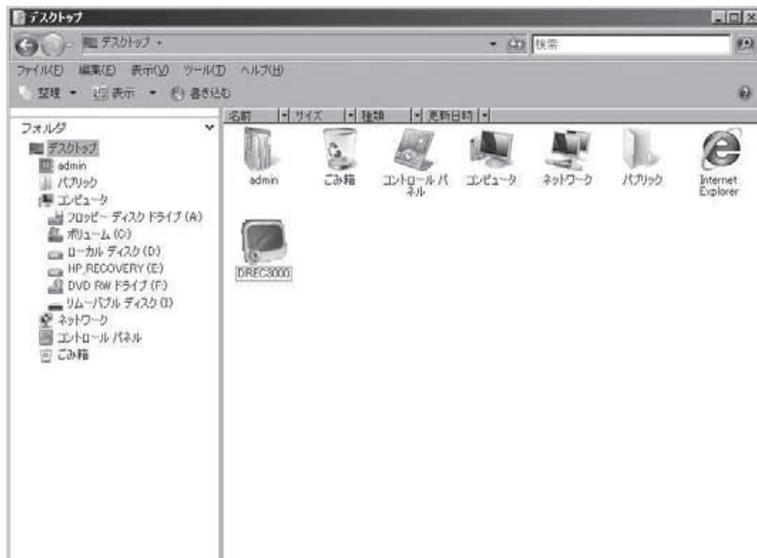
- 3 「DREC3000」をマウスで右クリックし、「コピー」を選択します。



- 4 「デスクトップ」を選択して、右の枠内をマウスで右クリックし「貼り付け」を選択します。



5 「DREC3000」がデスクトップへコピーされます。



ワンポイント

必要に応じて、バックアップとして任意の場所へコピーすることをお勧めします。

ビューアソフトは、専用サイトよりダウンロード可能です。

⇒ 「ビューアソフトを消してしまった場合 (P.73)」参照

記録した映像を見る

記録した映像を、ビューアソフトで見ることができます。
以下の手順でビューアソフトを起動し、映像を見ます。

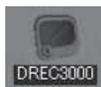
- 1 本体から抜いたSDメモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンへ挿入します。



注意

お使いのパソコンの設定によっては、SDメモリーカードを挿入したときに「Windowsが実行する動作を選んでください」というダイアログが表示されます。その場合は、「キャンセル」ボタンをクリックするか、「何もしない」を選択するか、または右上の「×」ボタンでダイアログを閉じてください。

- 2 デスクトップの「DREC3000」をダブルクリックします。



- 3 ビューアソフトが起動します。

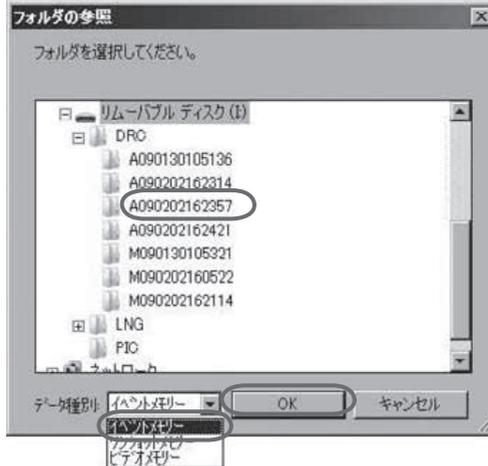


- 4** 次に、見たい映像のフォルダを指定します。  ボタン(フォルダを開くボタン) をクリックします。

(メニューの「ファイル」 - 「開く」を選択しても同様の動作となります。)



- 5** SDメモリーカードのドライブを指定し、記録方法別のフォルダ(※ 1)の中の映像を保存しているフォルダ(※ 2)を選択し、左下のデータ種別のメニューから表示モードを選び [OK] ボタンをクリックします。



ワンポイント

- ハードディスク上にある映像を再生する場合は、ハードディスク上の映像を保存しているフォルダを選択してください。
- 1つのフォルダの中に複数のデータが混在した場合は、データ種別で再生したいデータの種別を選択してください。混在していない場合は、データ種別の選択に関らずデータの種別を自動判別します。

※ 1 : 記録方法別のフォルダについて

SDメモリーカード内には、記録方法によってフォルダが分類されています。

- | | |
|-------------------|-------------|
| イベントメモリーのデータの場合 | : DRC のフォルダ |
| ワンショットメモリーのデータの場合 | : PIC のフォルダ |
| ビデオメモリーのデータの場合 | : LNG のフォルダ |

※ 2 : フォルダ名について

映像はトリガの種別により、以下のフォルダ名で保存されます。

- | | | | | | | | |
|-------------------|-------|------|----|----|----|----|----|
| 衝撃を検知して保存した場合 | : A | YY | MM | DD | hh | mm | ss |
| | | 年 | 月 | 日 | 時 | 分 | 秒 |
| スイッチ操作で保存した場合 | : M | YY | MM | DD | hh | mm | ss |
| | | 年 | 月 | 日 | 時 | 分 | 秒 |
| ワンショットメモリーで保存した場合 | : PIC | NN | | | | | |
| | | 通し番号 | | | | | |
| ビデオメモリーで保存した場合 | : L | YY | MM | DD | hh | mm | ss |
| | | 年 | 月 | 日 | 時 | 分 | 秒 |

6 ビューアーに指定した表示モードで映像が読み込まれ、自動再生します。

・ イベントメモリーの場合

ビューアーを終了します。

指定した映像の撮影日時とトリガ種別を表示します。
映像の一部がバックアップ電源で記録された場合は、 を表示します。

音量を調整します。
設定範囲: 0~16
数値を大きくすると、音量が大きくなります。

映像の明るさを調整します。
設定範囲: 0.1~5.0
数値を大きくすると、映像が明るくなります。

再生する映像を指定します。

現在のフレーム時刻とトリガ発生時刻との差を表示します。

一つ後のフレームを表示します。

一つ前のフレームを表示します。

同一フォルダ内の一つ後の映像を選択します。

同一フォルダ内の一つ前の映像を選択します。

再生を停止します。

映像を再生します。
再生中は一時停止ボタンとなります。

トリガが発生した場所にマーカを表示します。

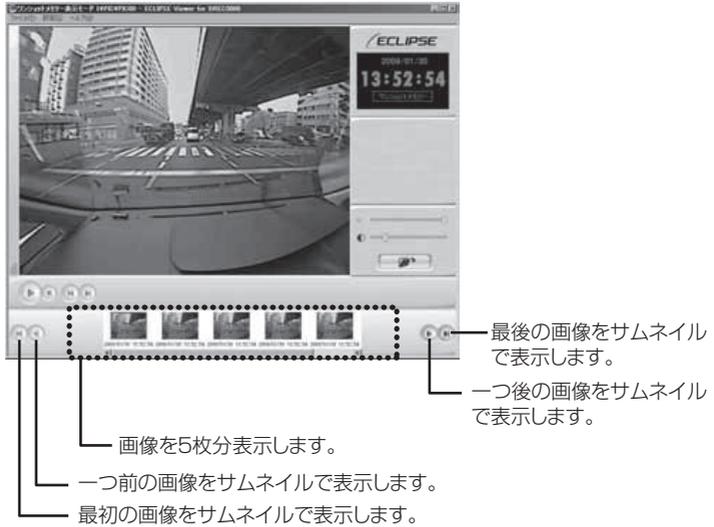
左軸: 加速度
下軸: 時間

橙色: 加速度



●映像が暗い場合は映像の明るさを調整してください。

・ワンショットメモリーの場合



表示中の画像をコピーしたい場合は、表示中の画面の上で右クリックしメニューの「コピー」を選択してください。パソコンのクリップボードにコピーできます。

・ビデオメモリーの場合

トラックバーの動作

トラックバーを移動させるとつまみで指定した位置から再生を行います。



※ビデオメモリーファイルが3つの場合



つまみをこの範囲内で移動した場合、1ファイル目の指定した位置から再生を開始します。

つまみをこの範囲内で移動した場合、3ファイル目の指定した位置から再生を開始します。

一つ後のチャプター(ファイル)の先頭から再生します。

一つ前のチャプター(ファイル)の先頭から再生します。

7 終了する場合は、**✕** ボタンをクリックします。

(メニューの「ファイル」 - 「終了」を選択しても同様の動作となります。)



ワンポイント

SDメモリーカードに保持しておける映像の数は限られています。必要に応じて、SDメモリーカードの映像データをパソコンのハードディスクに保存してください。

⇒「記録した映像をパソコンに保存する (P.58)」参照



注意

●映像を読み込む時や再生している時にエラーメッセージが表示され、映像が正しく再生されない場合は、映像データが破損している可能性があります。必要に応じてSDメモリーカードの映像データをパソコンのハードディスクに保存し、SDメモリーカードの再セットアップを行ってください。

⇒「記録した映像をパソコンに保存する (P.58)」参照

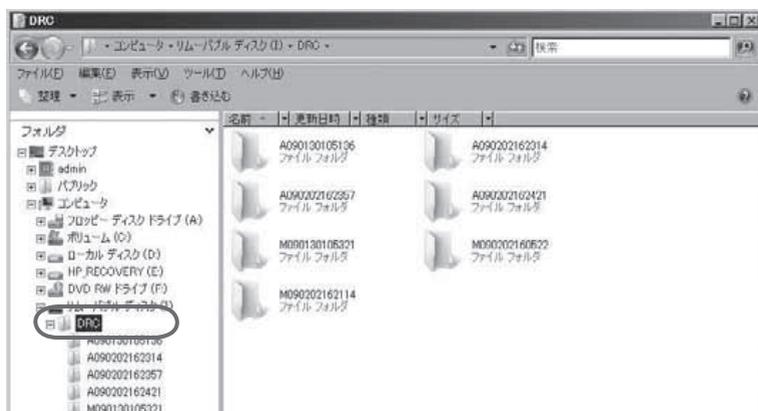
⇒「SDメモリーカードを再セットアップする (P.68)」参照

●SDメモリーカードを抜くときは必ずパソコンで安全な取り外し操作を行ってください。

記録した映像をパソコンに保存する

SD メモリーカードの容量の関係から、SD メモリーカードに保持しておける映像の数は限られています。映像を新たに記録するときに、SD メモリーカードがいっぱいになると、古い映像を上書きしますので、古い映像を見ることができなくなります。そのため、必要であれば、SD メモリーカードの映像データをパソコンのハードディスクなどに保存してください。

- 1 本体から抜いた SD メモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンへ挿入します。
- 2 エクスプローラで、SD メモリーカードのドライブを指定し、保存したい記録方法別のフォルダを選択します。



- 3 保存したい映像のフォルダをマウスで右クリックし、「コピー」を選択します。

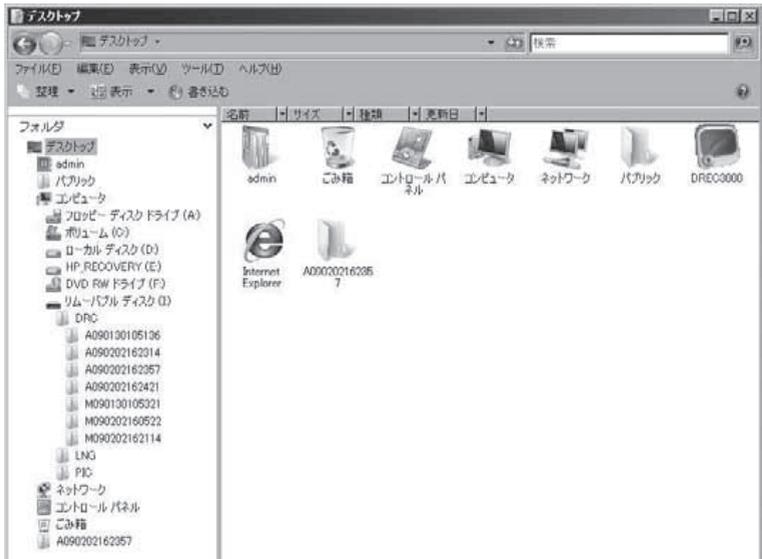


- 4** 保存先のフォルダを指定して、右の枠内をマウスで右クリックし、「貼り付け」を選択します。

(ここでは保存先をデスクトップにしています。)



- 5** 保存したい映像のフォルダが、SDメモリーカードから指定した保存先へ保存されます。



ワンポイント

必ずフォルダごとコピーしてください。



注意

コピー中にエラーメッセージが表示された場合、映像データが破損している可能性があります。再度やり直してもエラーメッセージが表示される場合はSDメモリーカードの再セットアップを行ってください。

⇒「SDメモリーカードを再セットアップする (P.68)」参照

記録した映像を SD メモリーカードから消去する

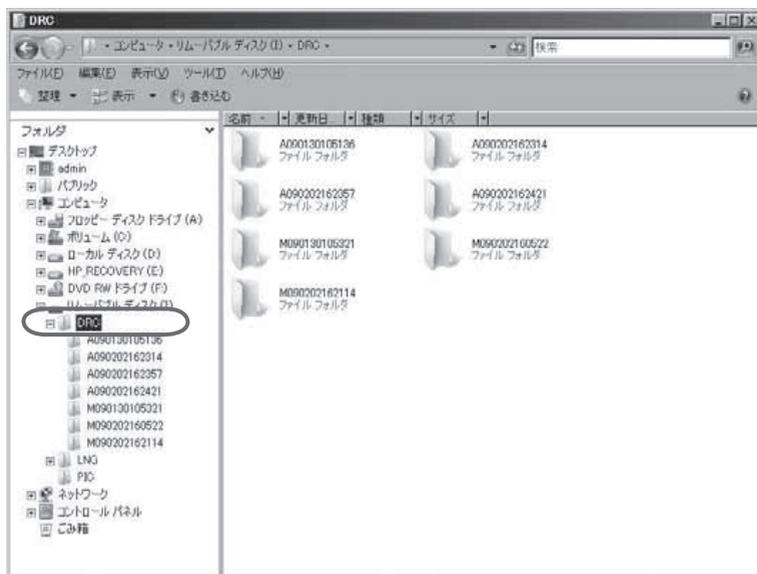
映像が不要であればパソコンで映像を削除することができます。ただし、SD メモリーカードがいっぱいになると、古い映像を上書きしますので、必ずしも削除する必要はありません。



注意

- 映像を削除する時は、SD メモリーカードをフォーマットするのではなく、フォルダのみを削除し、フォルダ以外を削除しないようにご注意ください。
- SD メモリーカード上のファイルやフォルダを削除すると、2 度と元に戻すことはできませんので、操作には十分にご注意ください。
- ビデオメモリーの上書き設定で「しない」にした場合、上書きされませんので削除が必要になります。

- 1 本体から抜いた SD メモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンへ挿入します。
- 2 エクスプローラで、SD メモリーカードのドライブを指定し、消去したい記録方法別のフォルダを選択します。



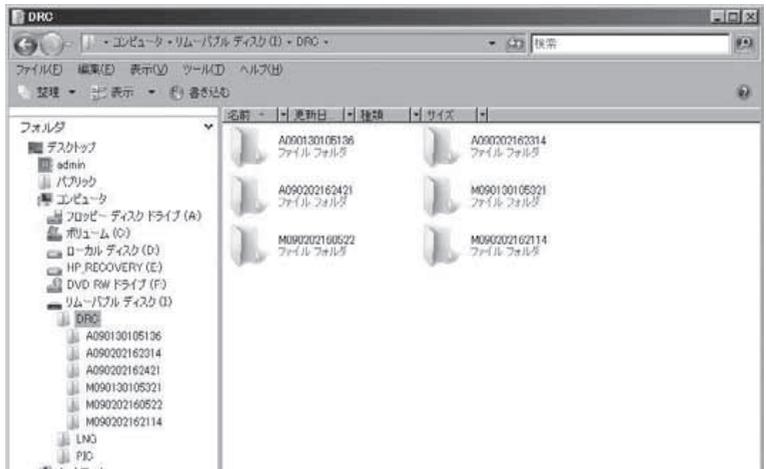
- 3 削除したい映像のフォルダを指定します。マウスで右クリックし、「削除」を選択します。



- 4 確認ダイアログが表示されますので、[はい] ボタンをクリックしてください。



- 5 削除が完了しました。他の削除したい映像がある場合は同様の操作を繰り返してください。



センサの感度を変更する

映像が撮れすぎる場合や撮れにくい場合は、センサ感度を変更してください。



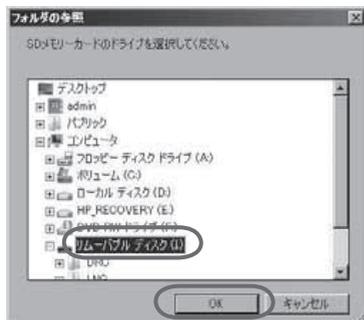
注意

- センサ感度はむやみに変更しないでください。
- センサ感度を変更する前に、本体のオフセット設定を再度実施してください。それでも改善しない場合にセンサ感度を変更してください。
- 感度を下げた場合、不要なデータは撮りにくくなりますが、必要なデータまで撮れなくなる可能性も高くなりますのでご注意ください。
- センサ感度は少しずつ変更し、「撮れすぎる」・「撮れにくい」をその都度確認してください。

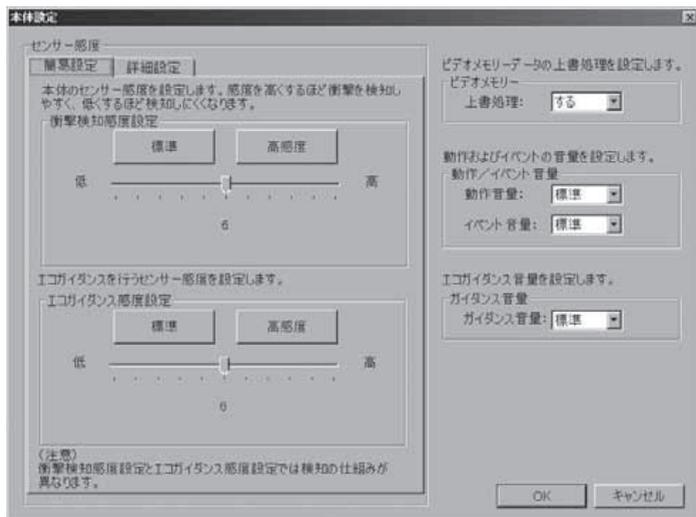
- 1** 本体から抜いたSDメモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンへ挿入します。
- 2** ビューアソフトを起動し、メニューの「設定」－「本体設定」を選択します。



- 3** SDメモリーカードのドライブを指定し、[OK] ボタンをクリックします。



- 4** 本体設定画面が表示されます。SDメモリーカードを正しく読み込んだ場合は、以前に動作していた設定が表示されます。



5 お好みの感度を設定します。

センサ感度を標準的な値にします。

センサ感度を高い値に設定します。

ビデオメモリーの上書き設定を変更します。

センサの感度を細かく設定できます。設定範囲:1~11

センサの感度をさらに細かく0.01G単位で設定できます。設定範囲：0.30G~0.60G

エコガイドスの音量を指定します。

映像を記録する時などに鳴る案内音またはガイドス音声の音量を指定します。

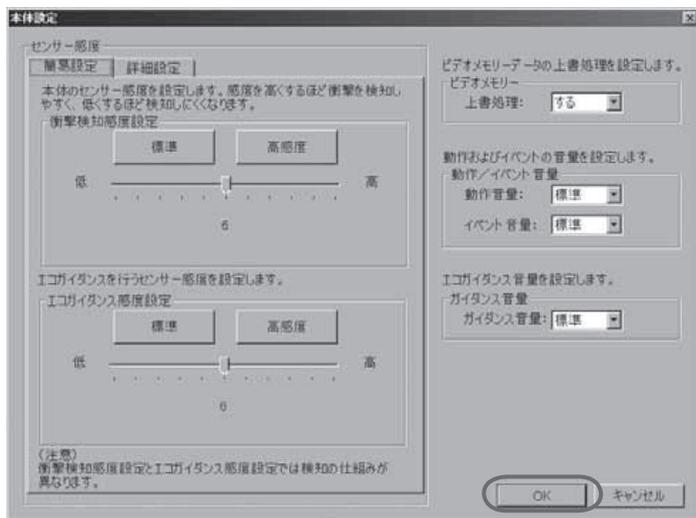
※簡易設定と詳細設定は連動しています。



センサ感度を高くするほど映像が撮れやすくなります。

- ※ SD メモリーカードを本体に挿入する前にパソコン上で設定画面を開くと調整前の値が表示されますが、SD メモリーカードには調整した値を記録しています。本体挿入後に数値が変更され表示されます。

- 6** [OK] ボタンをクリックします。SD メモリーカードへ設定を保存します。



- 7** 設定値を保存した SD メモリーカードを用いて、次回にエンジンキーをオンしたときに、自動的に値が反映されます。



注意

設定変更後は、実際の運転と照らし合わせて、撮れすぎるまたは撮れにくいといったことが無いか確認してください。その際、**急発進、急ブレーキ、急ハンドル等の危険運転をすることは絶対に行わないでください。**

本体の日時を修正する

本体では内部に時計を持っており日時を保持していますが、長期間にわたり電源が供給されない状態が続くと日時がずれる場合があります。日時が大幅にずれている場合や日時異常になった場合、以下の手順で日時を修正してください。

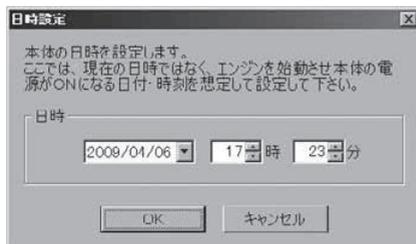


ご購入直後はずれている可能性がありますので、一度映像を試し撮りして、映像の日時を確認してください。また、定期的に確認してください。

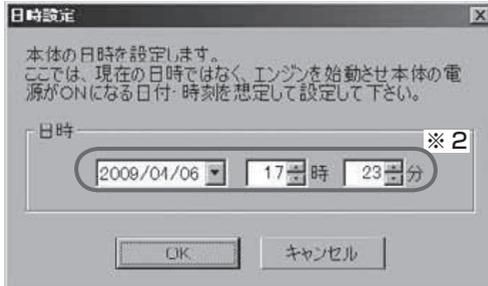
- 1** 本体から抜いたSDメモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンへ挿入します。
- 2** ビューアソフトを起動し、メニューの「設定」－「日時設定」を選択します。



- 3** 日時設定画面が表示されます。



4 日時（※ 1）を設定します。



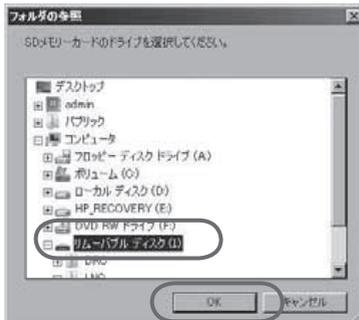
※ 1：日時について

現在の日時ではなく、次回にエンジンスイッチ「ON」または「ACC」にする日付と時刻を設定してください。

※ 2：画面表示はパソコンに内蔵している時計の時刻です。

ドライブレコーダー本体の時計時間ではありません。

5 [OK] ボタンをクリックします。書き込み先選択ダイアログが表示されるので、書き込み先としてSDメモリーカードを指定し、[OK] ボタンをクリックします。SDメモリーカードへ設定を保存します。



6 設定値を保存したSDメモリーカードを用いて、次回にエンジンキーをオンしたときに、自動的に値が反映されます。

SD メモリーカードを再セットアップする



注意

- 基本的にSDメモリーカードの再セットアップは必要ありません。SDメモリーカードで書き込み・読み込みエラーが発生する場合、または本体が起動しない場合のみ再セットアップをしてください。
- 再セットアップを行うと、SDメモリーカードのビューアソフトおよび映像データは削除されます。
 - ・ビューアソフトをパソコンへ保存していない場合は、ソフトをパソコンへ保存してください。また、必要な映像はパソコンへ保存してください。
 - ⇒「ビューアソフトをコピーする (P.48)」参照
 - ⇒「記録した映像をパソコンに保存する (P.58)」参照

- 1 本体から抜いたSDメモリーカードを、カードリーダーなどを使用してパソコンへ挿入します。
- 2 エクスプローラでSDメモリーカードのドライブを右クリックし、「フォーマット」を選択します。



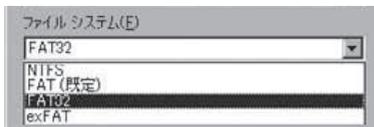
注意

- SDメモリーカード以外のドライブを指定してフォーマットした場合、パソコンが正しく動作しない可能性がありますので、ご注意ください。
- お使いのパソコンによっては、SDメモリーカードのドライブ文字が異なる場合があります。

3 フォーマット画面が表示されます。



4 ファイルシステムで「FAT（またはFAT16）」か「FAT32」を選択します。



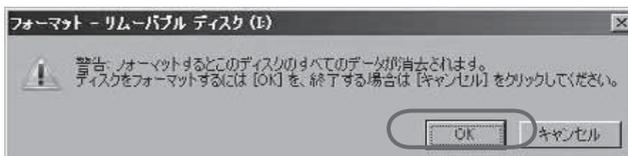
注意

NTFS にすると本体が動作しませんのでご注意ください。

5 [開始] ボタンをクリックします。



6 次のダイアログでは [OK] ボタンをクリックします。SDメモリーカードのフォーマットが始まります。



- 7** フォーマットが終わると、確認ダイアログが表示されるので、[OK] ボタンをクリックします。



SD メモリーカードのフォーマット自体が正常に完了しない場合は、カードが壊れている可能性があります。そのカードは使用できません。

- 8** [閉じる] ボタンをクリックします。



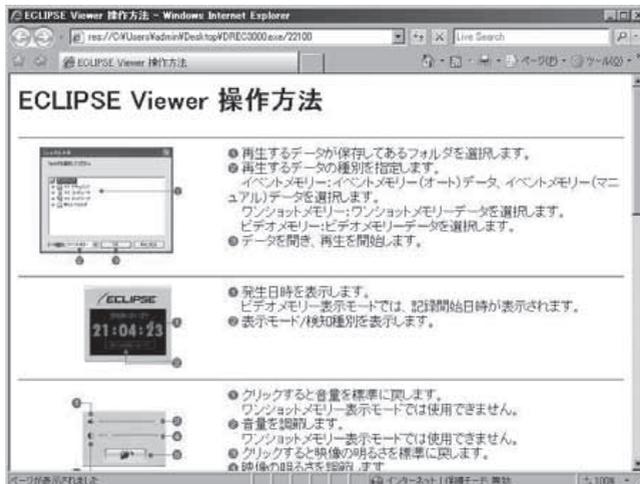
ヘルプを表示する

以下の手順でヘルプを表示します。ヘルプでは画面上の各ボタンの説明をしています。

- 1 メニューの「ヘルプ」 - 「ヘルプ」を選択します。



- 2 ビューアソフトのヘルプを表示します。



バージョン情報を表示する

以下の手順でビューアソフトのバージョン情報を表示します。

- 1 メニューの「ヘルプ」－「バージョン情報」を選択します。



- 2 ビューアソフトのバージョン情報を表示します。



ビューアソフトのバージョンを表示します。

ウェブブラウザを起動し、弊社ホームページへアクセスします。

ビューアソフトを消してしまった場合

誤ってビューアソフトを消してしまった場合、またはバージョンアップする場合は、弊社ホームページよりビューアソフトをダウンロードしてください。

- 1 Internet Explorer などのウェブブラウザを起動し、弊社ホームページへアクセスします。弊社ホームページの URL は下記の通りです。

<http://www.e-iserv.jp/top/>

- 2 「ドライブレコーダービューアソフトダウンロード」を選択してください。
- 3 DREC3000 の「ビューアソフトダウンロード」を選択してください。
- 4 使用許諾条件と免責事項をよく読み、「同意する」を選択してください。
- 5 表示されたホームページからビューアソフトをダウンロードし、デスクトップへ保存します。



ワンポイント

バージョンアップする場合、以前のビューアソフトは名前を変更するか他のフォルダに移動させてください。



注意

弊社ホームページは、2 ヶ月に 1 回程度の割合で、メンテナンスのために 1 日中アクセスできなくなることがあります。予めご了承ください。

ご参考に

よくある質問

本体

No.	質問事項	回答
1	カメラの取り付けに失敗しました。貼り直しても大丈夫？	一度取り付けたものは、両面テープの粘着力が弱くなりますので、再貼り付けはしないでください。販売店にて指定の両面テープを新規にご購入ください。
2	カメラを横向きに調整できないの？	左右方向の調整はできません。
3	カメラはどこに取り付けてもいいですか？	フロントガラス内側のワイパー可動範囲内のルームミラー付近に取付けてください。(P.21)
4	記録した音声小さいのですが？	本体内蔵のマイク(集音部)が覆われるようなところへ取付けていないか確認願います。
5	本体を縦に取り付けたいんですけど、何か問題はありますか？	問題ありません。 本体取付け後、必ず角度調整(記録スイッチを押しながら車両のエンジンキーをオン)を行って下さい。
6	車両の電源を入れてもLEDが点灯しない/電源が入らないのですが？	本体に電源が供給されていない可能性がありますので、電源の接続をご確認願います。シガーライターで接続している場合は、接触不良等が考えられますので、接触をご確認願います。シガーライター内が汚れている場合は、ご清掃をお願いします。
7	シガーライターの形状が合わないけど大丈夫？	シガーライターの形状が合わない場合は、ギボシを使用し車両のACC電源から電源を取得してください。
8	動作確認はどうやって行うのか？	P.30 動作確認手順に従いスイッチを押下して映像が撮影されているかパソコンで確認願います。くれぐれも、公道で本機が衝撃を検知するかを確かめるため故意に危険な運転をすることなどは、絶対にやめてください。
9	カメラが正常に取り付けられたかどうか確認するには？	スイッチを押下して映像が撮影されているかパソコンで確認願います。
10	電源ケーブルの長さが足りないけど？	電源ケーブル長は3.5mになっています。どうしても長さが足りない場合は本体の取付位置を変更してください。(ただし、運転の妨げにならない場所に取り付けてください)
11	本体をダッシュボード上に取付けてもいいですか？	本体はダッシュボード上など直射日光が当たり続けるところへは取付けしないで下さい。本機が高温となり、故障の原因となることがあります。
12	データを自分で消すことはできるのか？	パソコンからSDメモリーカード内の映像が入ったフォルダを削除することでデータを消すことができます。
13	カーナビとの接続で映像を見ることはできないの？	別売のビデオ出力コード(DRVO20)を使い、画像のみをナビゲーションの画面で見ることができますが、音声の確認および本体の設定を変更するためにはパソコンが必要です。
14	ブラインドコーナーモニター、バックガイドモニターの映像を残すことはできないの？	ブラインドコーナーモニター、バックガイドモニターと接続することも、ブラインドコーナーモニター、バックガイドモニターの映像を記録することもできません。

No.	質問事項	回答
15	スピーカーはどこに取り付けてもいいですか？	カメラブラケットに取り付けてください。(P.23 参照) フロントガラス上に貼り付けた場合、車検に適合しません。
16	ガイダンス音声が小さくて聞こえないのですが、大きくできないの？	パソコンにて音量を変更できます。(P62 参照) 出来ます。
17	事故の衝撃でバッテリーが外れても記録できますか？	事故の衝撃でバッテリーが外れたり、シガーライター電源プラグが外れることを想定し、バックアップ電源を内蔵しています。バックアップ電源により、電源遮断前*の映像を記録しますが、必ず、記録することを保証するものではありません。 ※映像のフレーム数を落としています。バックアップ電源は充電式のため、電源オン直後や低温下では、バックアップできない場合があります。
18	専用のSDメモリーカードが壊れたけどどうすればいいですか？	SDメモリーカードの再セットアップを行って下さい。問題が解決しない場合は弊社指定の専用のSDメモリーカードをご購入願います。市販のSDメモリーカードをご購入されても、正常に動作しませんのでご注意ください。
19	事故で壊れた場合、修理はしてもらえるの？	事故などで強い衝撃を受けて壊れた場合は、部品故障の発生が懸念され、修理後の品質保証ができませんので、修理をお受けすることはできません。
20	記録時間を変更したいんですけど？	記録時間は検知トリガ前 12 秒、後 8 秒の固定です。変更することは出来ません。
21	記録したはずの画像がないんだけど？	記録できる映像はイベントメモリー (オート) 10 件、イベントメモリー (マニュアル) 5 件、ビデオメモリー最長 20 分、ワンショットメモリー最大 600 枚です。これを越える場合は、古いものから上書き保存していきますので、必要に応じて、SDメモリーカードのデータをパソコンのハードディスクなどに保存してください。また、SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっている場合も保存されません。
22	映像が記録されすぎるとはありますが？	パソコンにてセンサ感度を調整する (P.62) ことが出来ます。その前に再度オフセット設定 (P.30) を行ってください。
23	信号の色が記録されないことがあるけど故障？	映像の記録周期と LED 方式の信号の周期によっては一瞬信号が消えて見える場合がありますが、前後の映像や周辺の車の動き等から判断してください。
24	エンジンを切っても電源が切れないんですけど？	電源はシガーライターから取っていますか？車両によっては常時、電源供給されている場合があります。その場合は、ギボシを使用し車両の ACC 電源から電源を取得してください。電源を車両の ACC 電源から取っている場合は、接続をご確認願います。

No.	質問事項	回答
25	本体が起動しないのですが？	専用のSDメモリーカードは挿入されていますか？SDメモリーカードが挿入されていない時は、SDメモリーカードを挿入してください。SDメモリーカードが挿入されているにも関わらず本体が起動しない場合は、SDメモリーカードの異常が考えられます。SDメモリーカードの再セットアップを行ってください。
26	SDメモリーカードに、映像が記録できないのですが？	次の理由により正常に動作していない可能性がありますので、ご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"> ・オフセット設定 (P.30) は完了していますか？完了していない場合は、オフセット設定を再度行ってください。 ・本体はしっかりと固定されていますか？しっかりと固定されていないと、衝撃を正しく検知できず動作しない場合があります。再度取り付けを行ってください。 ・SDメモリーカードに異常はありませんか？異常がある場合は、SDメモリーカードの再セットアップを行ってください。 ・SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されていませんか？「Lock」されている場合は解除してください。

ビューアー

No.	質問事項	回 答
1	パソコンを持っていませんが見ることができますか？	別売のビデオ出力コード (DRVO20) を使い画像のみを車載モニターで見ることができますが、音声の確認および本体の設定を変更するためにはパソコンが必要です。
2	事故を起こした際、自分に不利な映像でも相手に提出しなければいけない？	提出する義務はありません。
3	ビューアーで撮影日時 (検知種別) が表示されず、「映像情報が欠落している・・・」と表示されたんですが？	本体は、検知日時や検知種別などの情報データを、映像と共にカードに記録しますが、データ書込み中のカード抜けや、電源断などの原因により、情報データが正しく書き込めなかった場合に表示されます。
4	記録時間が 20 秒未満のデータがありますが、これは故障ですか？	映像を SD メモリーカードに記録している時間 (20 秒) の直後に新たな記録トリガが発生した場合、二つ目の映像の記録時間が 20 秒未満になる場合があります。故障ではありません。
5	記録時間が 20 秒以上のデータがありますが、これは故障ですか？	映像を SD メモリーカードに記録している時間 (20 秒) の間に新たな記録トリガが発生した場合、映像の記録時間が延長されて 20 秒以上になる場合があります。故障ではありません。
6	記録できた映像は、事故の証拠として認められるのですか？	本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
7	パソコンの OS が Windows98,ME ですが映像は見ることはできますか？	見ることはできません。対応 OS は Windows 2000 (SP4 以上) , Windows XP (SP3 以上) および Windows Vista (SP1 以上) です。それ以外の OS では、ビューアーソフトは起動しても再生が正しく行われないことがあります。
8	古いパソコンを使っていますが、新しいパソコンは必要ですか？	Windows 2000, Windows XP および Windows Vista の OS が快適に動作するパソコンであれば、新しいパソコンは必ずしも必要ではありません。
9	記録した映像は、Windows Media Player 等の汎用ソフトで見えることはできますか？	できません。付属の DREC3000 でのみ再生が可能です。
10	ビューアーソフトを消してしまいました。	ビューアーソフトは SD メモリーカードの中に入っています。SD メモリーカードからデスクトップへコピーしてください。また、弊社ホームページからもダウンロードが可能です。⇒「P.73 ビューアーソフトを消してしまった場合」参照。

No.	質問事項	回答
11	パソコンにSDメモリーカードを挿入しても認識しないのですが？	SDメモリーカードが正しく挿入されていない可能性があります。再度SDメモリーカードを挿入しなおしてください。また、カードリーダーを使用している場合、カードリーダー自体が正しくパソコンで認識出来ていない可能性もあります。カードリーダー付属の説明書を参照してください。
12	ビューアソフトが起動しないのですが？	お使いのパソコンのOSはWindows2000(SP4以降)またはWindows XP(SP3以降)またはWindows Vista(SP1以降)ですか？ビューアソフトは、Windows2000より古いOSや、MacやLinuxなど他のOSでは起動しません。もし、OSが正しいにも関わらず起動しない場合は、ビューアソフトのファイルが壊れている可能性がありますので、弊社ホームページよりダウンロードしてください。 ⇒「P.73 ビューアソフトを消してしまった場合」参照。
13	再生ボタンを押しても、映像の再生が始まらないのですが？	再度フォルダを開いて、再生を行ってください。それでも再生されない場合は、映像ファイルが壊れている可能性があります。ファイルが壊れた場合、再生はできませんので、フォルダごと削除してください。
14	再生ボタンを押しても映像は再生されるが、音が出ないのですが？	ビューアの音量設定が最小になっていませんか？設定をご確認ください。設定変更しても音声がでない場合、本体内蔵のマイク（集音部）が覆われるようなところへ取り付けていないか確認願います。
15	本体設定画面を開くと「設定ファイルを読み込めません」との警告が表示されるのですが？	本体設定画面を開く時には、本体が実際に動作していた時の設定記録ファイルをSDメモリーカードから読み込みます。ご購入直後やSDメモリーカードの復元操作直後（フォーマット後の復元操作）は、このファイルが存在しません。その場合、左記警告が表示されますが問題はありません。そのままOKボタンを押してください。
16	本体設定画面でセンサー感度を変更して書き込みをしましたが、値が変更されていないようなのですが？	設定変更をした後、再度、設定画面を開いても変更内容は反映されません。ただし、設定を変更するためのファイルは更新されています。故障ではありません。設定変更をした後、SDメモリーカードを車載機本体に挿入して起動させることで、設定内容は反映されます。
17	本体設定画面で音量を変更して書き込みをしましたが、値が変更されていないようなのですが？	設定変更をした後、再度、設定画面を開いても変更内容は反映されません。ただし、設定を変更するためのファイルは更新されています。故障ではありません。設定変更をした後、SDメモリーカードを車載機本体に挿入して起動させることで、設定内容は反映されます。
18	イベント記録について、記録開始からトリガ発生まで11秒や13秒の映像があるのですが？	記録のタイミングとミリ秒単位の誤差により、見かけ上11秒や13秒になる場合があります。

仕様

本体

項目	仕様
動作温度範囲	- 20 ~ + 65°C ※湿度 20 ~ 90% RH、結露なきこと
保存温度範囲	- 30 ~ + 85°C ※湿度 20 ~ 90% RH、結露なきこと
電源電圧	10 V ~ 32 V
消費電流	最大 1 A 以下
外形寸法	横幅 113mm × 高さ 20mm × 奥行 70mm (突起部を除く)
質量	約 100 g
映像記録時間	イベントメモリー: 20 秒 (衝撃検知前 12 秒、検知後: 8 秒) ビデオメモリー: 最長 20 分
映像フレーム数	イベントメモリー: 30 フレーム/秒 ビデオメモリー: 10 フレーム/秒
記録可能件数	イベントメモリー (オート) 10 件 イベントメモリー (マニュアル) 5 件 ワンショットメモリー最大 600 件
時計精度	月差 13 秒
VIDEO 出力	NTSC (別売コードが必要)

カメラ

項目	仕様
動作温度範囲	- 20 ~ + 60°C ※湿度 20 ~ 90% RH、結露なきこと
保存温度範囲	- 30 ~ + 80°C ※湿度 20 ~ 90% RH、結露なきこと
供給電圧	5.1 V
消費電流	最大 120 mA
外形寸法	横幅 27mm × 高さ 22mm × 奥行 24mm (背面突起物を除く)
質量	約 30 g (ケーブルを除く)
撮影素子	1/4 型カラー CMOS
有効画素数	約 31 万画素
水平解像度	300 TV 本 (中心部)
画角	水平 135° × 垂直 105°

アフターサービスについて

1. この商品には保証書を添付しております。
保証書は販売店でお受け取りの際、必ず、「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
2. 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
3. 調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前に本書の「**ご参考に**」(P.74)を、もう一度よくご覧のうえ調べてください。簡単な調整やお手入れで直ることがあります。それでも具合が悪いときは、次により修理をお申しつけください。
 - ◆ 修理の受け付けは、お求めの販売店が行います。
 - ◆ 保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持ち込みください。
保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。
※ 修理、点検に要する商品の脱着費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。
 - ◆ 保証期間が過ぎているときは、お客様のご希望によりまして、有料で修理をお引き受けいたしますのでお求めの販売店にお持ち込みください。
4. 出張による修理、点検は行っておりません。
5. この商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

商品に関するお問い合わせ先 アフターサービスについて

商品のアフターサービスに関するお問い合わせはお求めの販売店または下記「お客様相談窓口」へ

※修理のご依頼は、お求めの販売店へお願いいたします。

【お客様相談窓口】

富士通テン株式会社

☎0120-022210

受付時間 午前10:00～12:00、午後1:00～5:00

(土・日・祝日などを除く)

<商品のご購入、組み合わせ等に関するお問い合わせについては、お求めの販売店または最寄りの下記販売会社へ>

富士通テン東日本(株)	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目14番24号 (西新宿KFビル)	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、 甲信越地区
北海道支店	〒003-0809 札幌市白石区菊水9条2丁目2番38号	(011)821-2221	北海道全域
北関東支店	〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西4丁目18番1号	(048)859-2210	栃木、埼玉、群馬、茨城
東北支店	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3丁目4番18号 (タカノボル第22ビル)	(022)256-2291	東北地区
富士通テン中部(株)	〒450-0003 名古屋市中区名駅南3丁目11番10号	(052)581-8621	中部、北陸地区
富士通テン西日本(株)	〒663-8241 西宮市津門大塚町7番35号	(0798)36-7481	兵庫、大阪、京都、 滋賀、奈良、和歌山
中国支店	〒734-0044 広島市南区西霞町2番25号	(082)255-2422	中国地区
四国支店	〒760-0078 高松市今里町1丁目28番13号	(087)863-7020	四国地区
九州支店	〒815-0031 福岡市南区清水4丁目4番34号	(092)511-3210	九州全域、沖縄

MEMO